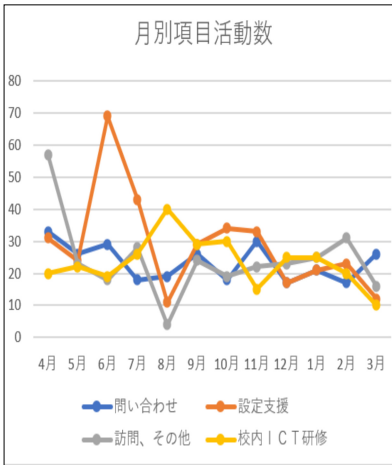
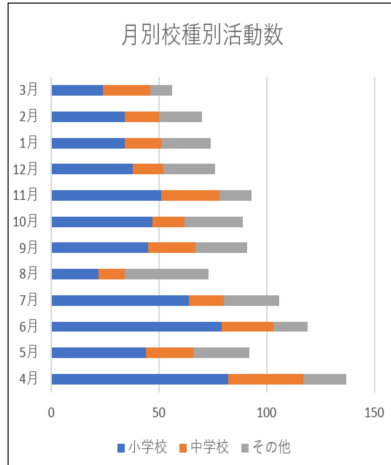




### 2024年度の活動状況

- <校種別> 1,076件  
小学校564、中学校242、  
その他270
- <内容別> 1,198件
- 電話等による問い合わせ等 280
- 設定支援 347
- 訪問、その他 290
- 校内ICT研修他 281



2024年度は前年より200件程度の減となっています。これは業者委託した部分によるもので、総数としては大きな変化はありませんでした。

**新年度のスタートに向けて**  
※次の内容に沿って端末を利用してください。(ほぼこれまでの再掲載です。)

### 校務PCと学習用端末等の使い分け

学校では、次の3種類のPC類を使用しています。

- 校務PC（職員室のみ）
- ・職員室以外に持ち出さないでください。
- ・本体起動パスワードは適切に管理し、定期的に更新してください。

### <パスワード変更手順>

- 1 旧パスワードでスタート画面にログイン後、「Ctrl」+「Alt」+「Del」を同時に押してください。（起動時の操作と同じです）
- 2 表示される「パスワード変更」を選択し、記号や英数字を含む新しいパスワードを設定してください。
- 3 設定後、管理職へ新しいパスワードを報告してください。（厳重管理をお願いします）

### ○学習用端末（iPadなど）

- ・「設定」から「g.shunan.ed.jp」のアカウントでサインインすることで、学習や教員研修に使用できます。（校外

へは管理職の持ち出し許可が必要です。）

- ・校務データの取り扱いには認めていません。（セキュリティポリシー）

### 授業での使用方法：――

- ・各校のICT教育での教職員指標として「小学校高学年および中学校の必要な学習システムのひとつとして、Google Classroomが使える100%」としています。
- ・具体的なアクションは、「Google Classroomを使って資料配布ができる」としています。

### サポート：――

- ・校務・学習系のICTサポートは、教育研究センターからの「サポートセンター方式」としています。遠隔操作や訪問で対応しています。
- ・校内研修への講師依頼文や礼状等は不要です。電話でご連絡ください。
- ・学習系研修は基本的に「10分間の解説+演習」で行い、少人数から対応します。

### その他：――

- ・「ミライシード」の「オクリンクプラス」は、必要な学習システムとしています。授業内容や学年に応じてGoogle Classroomとの併用をお願いします。

### ○備品PC

- ・校務PCおよび学習用端末での使用環境を補完するものです。

- ・「オンライン配信」「教材提示」等を目的に用意されています。
- ・チャイムソフトや購入したソフトを管理職権限でインストールできません。

- ・できるだけクラウドタイプのソフトを推奨します。
- ・校内ネットワークへは入れません。

### 管理と注意点：――

- ・日常的に使用する特別教室等を除き、備品PCを教室等に置いたままにしないでください。
- ・ウイルス対策ソフトが別途必要です。
- ・PCの台数管理や使用状況は再評価してください。3ヶ月以上使用しない場合、「Wi-Fi」が自動的に無効になります。その場合、再設定が必要です。

### 重要事項：――

- ・校務データの扱いは校務PCのみに限定されています。
- ・Windows10のサポート終了に伴い、PowerPoint2019等のOfficeサポートも終了します。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

### 知っておきたいICT

#### <iPadのバージョン>

- バージョンの確認
- iPadはバージョンにより、動作の不安定が多く発生しています。
- それも全端末で起きるのではなく、数台に起きるとい

- ものです。
- 全国学力・学習状況調査前までには、時間的ゆとりを持って最新のバージョンの状態にしておいてください。
- 故障させない
- また、本文にあるように必ずサインインをして、メモリ不足による電源エラー、いわ

ゆるリンゴグループや電源が入らないというのを防いでください。本市の予算案には、どの程度の修理費が計上されているかが公開されています。県立高校が「端末の保護者負担」を打ち出しましたが、修理対応の難しさを感じさせます。



### 新年度のスタートに向けて 2

**<個人情報の取り扱い>**  
 指導者用端末（以下「端末」）では個人情報を取り扱えず、扱える児童生徒情報は、「学年・組・番号・氏名まで」としてはありますが、「出席状況」は授業を始める前に必要な情報ですし、途中で体調を崩した児童生徒の状況を確認することも重要です。

ただし、「理由」は個人情報の取り扱いの観点から、職員室以外で閲覧できないようにしてください。この「理由」は、学習に直接必要な情報ではなく、「校務(保健情報)」として取り扱うべきものと考えているためです。  
 なお、該当の「端末」でなければ閲覧できないというものではありませんので、その趣旨を理解し

た利用をお願いします。

### <Googleサービスの利用について>

4月17日(木)に実施された全国学力・学習状況調査を控えた4月14日(月)、太華中学校では生徒たちが熱心に質問紙や理科の問題に取り組んでいました。

今回の理科では、CBT



(コンピュータベーストテスト)の特性を活かし、生徒個人のみならず、内容を把握できる内容となっていました。  
 また、午後には富田中

学校でも同様に行われました。

一般的に、住宅密集地に近いほどネットワーク環境が不安定になる傾向があります。そのため、試験提供時間を例示のように余裕を持って設定して、再配信できるようにしておきます。

さらに、4月17日には、小中学校ともに調査に並行して県の確認問題が実施されました。この確認問題は、各校で利用している配信ツールを用いて行うこととされており、多くの学校では前号のINFO96号に記載されている通り、Google Classroomを学習システムの一環として活用し、課題配信を時間設定して実施されたことと思います。

このように、学習システムとして利用されているGoogleサービスですが、INFO87号の記載のよう

に、Googleの使用許諾変更に伴い、昨年度各校で保護者へのお知らせをされたと思います。

これについて、入学、転入学の際に確認する必要があることから、本年度の市の端末を貸し出す際の書類に明記しています。

学校から全保護者への再確認の必要はありません。

### <参考 Google利用規約>

「GoogleWorkspaceforEducation利用規約」では、18歳未満のユーザーがその他のGoogleサービスを利用できるようにする前に、組織が保護者の同意を得ることが義務付けられています。

2024年9月より、教育機関はその他のGoogleサービスへのアクセスについて、審査と再確認を毎年行う必要があります。これには、必要とされる保護者の同意を得ていることの再確認も含まれます。」とされています。

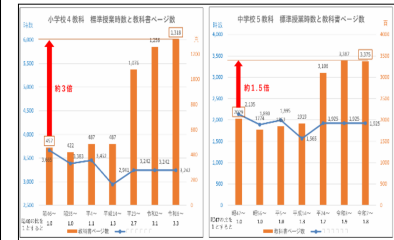
## 教科書を使う

学校教育法や学校教育法第34条では、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校において、文部科学大臣の検定を経た教科書、または文部科学省が著作の名義を有する教科書を使

用しなければならないと定めています。

近年、教科書にはQRコードや資料も増えつつ、これも使わなければいけないと誤解している先生がおられます。

INFO90号記載の「中教審諮問 参考資料p123」には、



約50年前から、小学校4教科・中学校5教科について、標準授業時数は減少しているものの、教科書ページ数(A5換算)は小学校で約3倍、中学校で約1.5倍に増加

とあり、教科書も諮問対象となっています。その中で教科書のQRコード類は、内容を補足する重要なツールではあるものの、補助教材という位置づけです。教科書本文のような使用義務はありませんので、学習指導要領のどのように学ぶかを念頭に教科書を使います。

周南市教育委員会  
 教育情報化推進室  
 ICT教育アドバイザー  
 周南市教育研究センター

### 知っておきたいICT

#### <学級アセスメント>

新学年の環境適応が気になる児童生徒も多いものです。  
 学校では、特別活動の時間を通してこれまでの「集団作り」から、お互いを認

め合う「共同体作り」への考え方の転換が求められます。このことで児童生徒の自己有用感が高まり、不安の軽減につながります。

そこで、FitやQ-Uのような学級アセスメントツールを使って進捗を診断をしていきます。

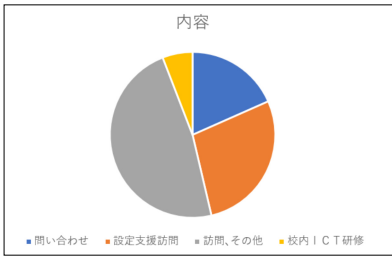
Fitは児童生徒の端末から回答できるように、また、Q-Uは質問紙(125円)の購入が必要ですが、分析の電子化を提供できますのでご利用の場合はお知らせください。

ただし、1回目の実施後は共同体として、役割を果たす機会の提供が必要です。



### 4月の活動状況

- <校種別> 122件  
小学校58、中学校55、  
その他9
- <内容別> 136件  
○電話等による問い合わせ等 25  
○設定支援 38  
○訪問、その他 65  
○校内ICT研修他 8



その中で4年を経過する端末は、使ううちに表面のホツレ、汚れが目立ってきます。定期的に、きれいなぞうきんをかたく絞り、表面を「清掃」しておくことが必要です。

また、4月末に49台のキーボードカバーの動作不良交換を、一斉に各校でお願いしました。

しかし、そのうち8台は正常でした。今回は特例としてカバーを届け、学校で交換してもらうという方法でしたが、あくまでも特例です。本来「外さない」としている理由

のひとつに、正常なものが含まれるという理由があります。今後の動作不良の際は本体が入った状態で事務室等へ預けてください。

ただ、現在でもキーボードカバーの動作不良交換が間に合っておらず、待ってもらっている状況があります。このキーボードカバーは、児童生徒の使用を優先させるため、全中学校の教師機のものだけを別のカバーに換え、全面清掃点検後に該当校に届けているものです。現在、中学校13校中7校に協力をいただいています。

繰り返しの紹介です。「カメラ」を使っている時、キーボード部分が垂れ下がりユラユラしているのをよく見ます。(金属疲労します)下の写真のように持てる人持ち、矢印の部分を折り曲げて使うと故障も減ると



思います。

### Office2019サポート切れ

windows10とともにOffice2019までのOfficeもサポート終了です。この問い合わせがあります。

Office2019自体は使えますが、相応のリスクがあることをMicrosoftは紹介しています。



その上で、「Office Home & Business などのOfficeの1回限りの購入、またはMicrosoft 365 サブスクリプションへのアップグレード」を案内しています。

現在校務パソコンで使っているタイプの個人使用版は、サブスクリプションのMicrosoft 365 Personalで¥21,300/年です。

これは1ヶ月間の無料の試用期間の後、少しの猶予期間があつて、その後は「参照専用」となります。(学習用には今後のことも踏まえると、オンラインでもオフラインでも使えるGoogleChromeで、できる内容で十分だと考えています。)

また、機能は限定的ですが、Microsoft 365 for the web (旧称 Office) があり、現在使っている教育アカウントで使えます。しかし、教育アカウン

トで端末にインストールしたOfficeアプリでの使用許諾はありません。

### いつでもどこでも誰にでも

山口県教育推進の手引きp.49に、「誰一人取り残されることのない教育の推進」として、現在、市内中学校4校に設置されているステップアップルームのことが書かれています。



この手引きは各校に数冊程度配付されていますが、内容はネット公開です。保護者も関心を持って閲覧されています。

先日、設置された中学校で、GoogleClassroomを使って、3学年のそれぞれの授業の配受信と、個別の学習状況を電子記録できるツールの設定支援をしました。

来室生徒は、その配信をもとに、とても真剣に学習していました。

対面、オンラインに関わらず、教室の様子を見て学ぶ姿に「いつでもどこでも誰にでも」という義務教育の理念の実現の大切さを実感しました。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

### 知っておきたいICT

<パーキンソンの法則>  
「人を増やせば一人ひとりの仕事量を減らすことができ、時間内に終わらせる」と考えやすいものです。  
パーキンソンの法則は、「人が増えればその分、別

の仕事を増やしてしまうか、やるべき仕事を譲りあい、一人ひとりの労働生産性とやりがいの低下が起きる」というものです。

「働き方改革にICT?」、ICTの導入が「人が増えればその分、別の仕事を増やしてしまう」と同じ考え方

になっていませんか?  
紹介したステップアップルームでの「来室記録」を先生がするのはなく、来室した生徒が、入口のQRコードを読み取り、入力、送信します。それだけでも生徒と向き合う時間をつくることのできるのです。



### バーコード受付ツール



保護者受付のツールとして、バーコードカードやその写真をスマホで提示する受付システムの試用を4年前から行っています。

バーコードを使うために、その作成ツールを各校のサーバー内の「教育研究センター」フォルダに保存しています。

(年次更新は、希望があればこちらで対応します。また、このデータは毎年7月下旬に行う端末使用者の報告の一部としても利

用できます。)

これまで、バーコードによる保護者受付を行われた学校には、バーコードによる受付ツール(Googleスプレッドシート)とタブレット(個別アカウント付き)を配付しています。

その中で、昨年度からWindows 10タブレットのサポート期限が近づいていることや、そのタブレットの経年劣化が進んでいることから、日常的に使っているiPadで動作する「簡易版受付ツール」を案内しています。

(INFO77号参照) このツールは、市内の約20%の学校に提供しています。

#### 簡易版受付ツール利用

して、学校安全(生活安全、交通安全、災害安全)に関わるニュースがほぼ即座に伝わり、たびたび安心安全について考えさせられます。人が集まるところは学校も例外ではなく、危機予測、危機回避、結果回避、監督義務が必要です。

欠席	コード	氏名	1 受付	1 年退室	1 組欠席	氏名	受付	退室	かな文字
1	1101	徳山遠石	○	○	16			○	31
2	1102	今宿久米	○	○	17			○	32
3	1103	菊川柳浜	○	○	18			○	33
4	1104	夜市戸田	○	○	19			○	34
5	1105	湯野岐山	○	○	20			○	35
6	1106	須磨沼城	○	○	21			○	36
7	1107	周陽桜木	○	○	22			○	37
8	1108	秋月鼓南	○	○	23			○	38
9	1109	富田東西	○	○	24			○	39
10	1110	福川和田	○	○	25			○	40
11	1111				26			○	
12	1112				27			○	
13	1113				28			○	
14	1114				29			○	
15	1115				30			○	

#### 手順

- 1 バーコードデータを整理し、印刷・配付する
- 2 保護者は来校時、カードまたはスマホを提示する  
代理受付の場合は、該当のカードを事前に受け取っておくか、スマホ写真として保存して提示する
- 3 学校はリーダーでバーコードを読み取る
- 4 各教室のディスプレイに受付状態が表示されるようにしておく

- 5 氏名表示された児童生徒は下校の準備をする
- 6 保護者が「教室前」に迎えに来られる場合は、ツールの「教室出退方式」(上図)を使い「退室」チェックをする
- 7 保護者が「ホールで待機」する場合は、ツールの「一斉出退方式」を使い、児童生徒がホールに行き、保護者とともに設置された「出口」でバーコードを再提示する下校処理する

※ ツールには2種類の方式があります。学校の運用に合わせてください。

これまでの「教室前での名簿確認」、「下校準備が終わるまで保護者が教室前で待っている」、担任や学年主任による進捗・

完了報告も不要です。引き渡し場面では、受付に要する先生の不足を想定しておくことが重要です。それを踏まえればICT利用は不可欠です。

#### 注意事項

- 引き渡し等の場合
- 保護者の待機環境(炎天下や降雨)に配慮します
  - 学年ごとの保護者待機場所の設置の場合、兄弟姉妹がいる児童生徒が右往左往し混雑します。また受付同様の先生の人員が必要です。「教室出退方式」、「一斉出退方式」を選んでください
  - 実施日前までには必ず紙上演習ではない事前研修をしてください。
  - iPadのOSバージョンやスプレッドシートアプリのインストールを確認してください。
  - Wi-Fi環境は必須です。

引き渡しは「学校安全」上、「その時は『安全』であるものの保護者に引き渡しが必要」と判断した時に行います。授業時の「暴風警報」発令が予想される場合は、前日までに判断します。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

### 知っておきたいICT

#### ＜危機管理と端末の取り扱い＞

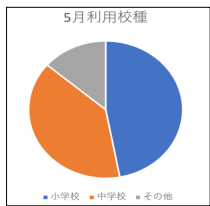
危機管理マニュアルは県の指針に沿って、毎年、各校で作成、見直しがされていると思います。

年々、情報通信網が発達

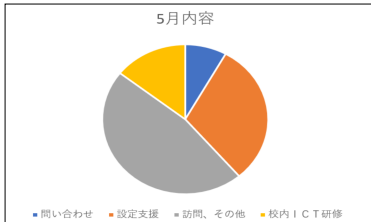


### 5月の活動状況

＜校種別＞ 102件  
小学校48、中学校40、  
その他14



＜内容別＞ 111件  
○電話等による問い合わせ等 9  
○設定支援 34  
○訪問、その他 52  
○校内ICT研修他 16



児童生徒のキーボードの動作不良対応のため、中学校の指導者用端末のものを回収協力していただき、清掃後、該当児童生徒に再配付しています。

その交換作業やGoogle Classroomやスタディポケットに入れられないなどへの対応が多くありました。

### パスコード・パスワード管理

アカウント一覧や「パスコード」は、管理職の先生がファイルで保管するようお願いしています。忘れた場合は、そのファイルを参照して復旧するか、再設定を依頼してください。その際、学年・組・氏名を明記すると、スムーズに対応できます。

(学習者・指導者端末の「パスコード」を設定しないと、Google Classroomは利用できません。)

また、指導者・学習者のGoogleアカウントがあり、それぞれ異なる「パスワード」が設定されています。このアカウントと「パスワード」があれば、誰でもどこからでもアクセスできます。

利用者の責任において適切に管理するものです。

ミラシードの場合、先生は忘れた児童生徒の「パスワード」を閲覧できる仕組みになっています。しかし、「パスワード」を端末本体に貼る、はさむ、または全員で同じものを使用することは避けるべきです。本来の「パスワード」の意味を失わせないことです。「パスワード」の取り扱いや管理の現状について、今一度確認をお願いします。

### 若人の会

5月23日(金)の若人の会には14人が参加されました。

講義・演習「学校と情報化」では、GIGAスクー

ル構想の背景にあるもの、やまぐちスマートスクール構想で実現しようとしていることについて、プレゼンをAI音声付きビデオに変換したものを使いながら解説しました。

また、教育研究センターの役割に道徳授業をあげていることから、今年も道徳資料の「心」の読みとり、見つけ方の概略を紹介しました。(秋月中学校、鹿野中学校が「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」の研究指定を受けています。)

人の心は分からないけれど、その人の言葉と行動に表れる」といわれます。

このことから、道徳資料でもその言葉と行動を図に示しながら取り組むとよいでしょう。



さらに週一度の道徳を通して、その学校の先生全員で取り組むことで、学校全体の「授業改善」が期待されます。

プレゼン、板書、個別プリントによる授業ではなく、お互いの意見を視覚化しながら意見を「聴

きあう」場面がある、さらにふりかえりとして、授業感想ではなく、その授業のねらいに迫るものが設定されていることが求められます。

また、授業で使うコピーについての留意点を、著作権の観点からふれています。

### バーコード名表作成ツール

前号のINFO紙にある受付ツールを使うために、バーコードを作成しておく必要があります。

その2025版を各校に配信し、学校の「Public」に保存するようにお願いしています。

すでに作成済みの場合は、「管理台帳」シートデータを今回のものにコピー、ペースしてください。

2025版は、24面、27面タックシール印刷の場合、空欄の部分にも学年、組、番号が印刷されていたものを修正しています。

在学中のバーコードの変更はありませんので、学年、組、番号の文字色を白にして印刷する使い方もあります。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

### 知っておきたいICT

＜オンライン配信＞  
GoogleClassroomからGoogleMeetの「リンクを生成」をすれば、すぐに開始できます。ところが多くの児童生徒へアプリが配信されていないか、配信されて

いてもアップデートされていません。また、注意点として配信用に備品PCを使う場合はスペック上の支障はありませんが、Chrome化したタブレットを1対1のホストにすると、次のイメージ写真のように画面の上半分の映像が乱れやすくなり

ます。もう1台追加すれば配信の仕組みが自動的に変わり解消します。



これで画面共有による資料閲覧や黒板の文字の見えにくい児童生徒への対応が可能になります。



### 学級アセスメントの必要性

Q-UやFitと呼ばれる「学級アセスメント」は、実施時の児童生徒の学習状況や心の状態を診断します。いわゆる「健康診断」であり、その診断によって「治療」や「再検査」が必要なように、「教育相談」を行い、適切な支援を行っていきます。

多くの先生が課題としてあげられる学級全体的様子や人間関係を視覚化、グラフ化して、より良い学習環境をつくる資料となるものです。

例えば、ある生徒が授業中に発言しづらそうにしているとき、アセスメントを行っていただければ、その要因を先生が予想でき、適切な声かけができるようになります。

また、友達同士の関係では、いじめにつながる兆候を早めに見つけ、初期対応できます。

さらに、学習意欲の低下が見られる生徒には、モチベーションを高める方法を一緒に考えていくことができます。

この学級アセスメントの目的は「本人にとって、より良い教育」を実現することにあります。

教育相談では、方向性や改善点を先生が語るのではなく、児童生徒一人ひとりが安心して学び、自分の力を伸ばせる環境となるように、先生と一緒に考えていく時間を大切にします。

しかし、相談時間が限られているため、とかく先生の「感覚」や「経験」による「説話」で終える例があります。時間が経

過して他の要因から指摘されたときには、深刻さが増していることが多いものです。

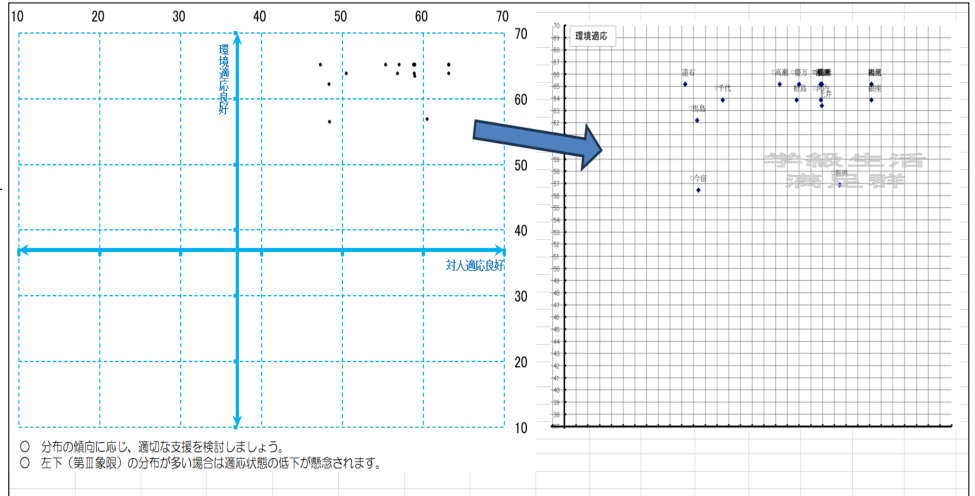
一人ひとりの得意なことや苦手なことを見つけ、児童生徒の持つ可能性を伸ばすきっかけとなりやすい運動会・体育祭、校外学習などの学校行事の前後や長期休業前を目安に行うと効果的です。

未実施の場合は、すぐにでも行い、今日的課題、今後起こりうる課題の早期発見と解決に役立て、児童生徒にとって、より充実した学校生活につながるようにして欲しいと思います。

### Fit

4月初旬に各校に配信されたFitを見直し、依頼のあった2校に提供しました。Fitが学級集団の傾向や

が配信されていないためにネット上のGoogleMeetにつながろうとしているためです。一般的に情報端末のサポートは7~8年間となっています。セキュリティ上の課題もありますが、10年前のものでは、アプリに対応できません。



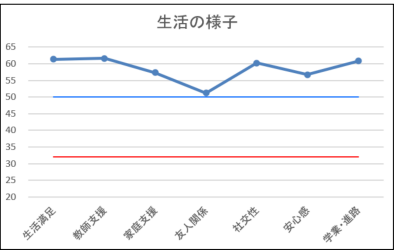
○ 分布の傾向に準じ、適切な支援を検討しましょう。  
○ 左下（第五象限）の分布が多い場合は適応状態の低下が懸念されます。

個人のつまづきを上のグラフや数値で指摘しているにも関わらず、視覚化不足で気づきにくくなっていました。

そこで「視覚化」するために、Fitの処理シートにある「⑤分析結果(学級)シート」のグラフをQ-Uの自校処理シートと融合させました。(※Q-Uの質問紙は有料ですが、処理は自校処理できるとされており、エクセルシートにしたものを、ここでは自校処理シートとしています。)右上のグラフを追加して出席番号だけではなく、氏名を表示しています。

また、個人グラフも右上中のように表示できるようにしています。

原版の著作は担保したまま、個別のグラフや氏名を表示したものを「周



南市版」として、このINFOとともに各校に配信します。

### <注意事項>

これは、先生の児童生徒支援資料です。児童生徒と一緒に考える、そのスタンスが大切です。

成績表や結果と勘違いせず、児童生徒に直接示さないようにしてください。配慮が必要です。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

### 知っておきたいICT

<iOSバージョンアップ>  
iPadでは「アプリ」をよく使います。「アプリ」が豊富にあるということが魅力のひとつと言われてきました。  
しかし、その多くのアプ

りは、より最新のiOSバージョンを必要としていて、何らかの不具合の原因はここから起こります。

「GoogleClassroomからGoogleMeetを開こうとするとアカウント、パスワードを入れなくてはいけない」と相談を受けます。アプリ



組氏名を書いた付箋を付けて、各校の事務担当者に預けておいてください。  
市教委の場合、教育情報化推進室担当者、ICT教育アドバイザーにお願いします。不在の場合は、用件をお知らせいただく対応が早くできます。

年齢層で可能になるという事です。  
このようにICTの世界は、環境の変化により、規約が更新されています。今回のものは、教育現場にふさわしいAIの回答になるように整備しているというものでした。

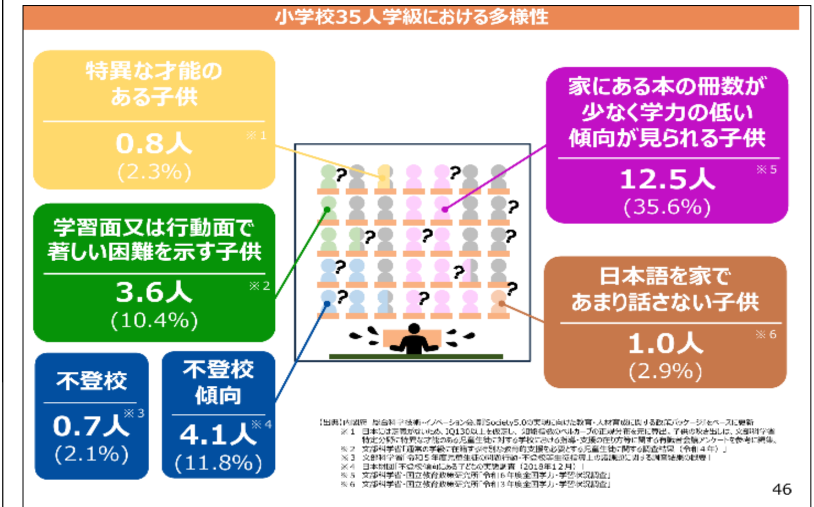
校は、1.3人(3.2%)です。これは統計上の話ではなく、数校から翻訳アプリの利用について問い合わせがあります。  
あるアプリは、以前は13歳以上でしたが、許諾年齢層が広がり、個人使用であれば無料版が使えます。しかし、法人、学校での業務としての使用はできないとなっています。法人、学校での会話は秘密性を保つ有料版の使用となっています。  
Googleの使用を除き、アプリの使用前には、最新の利用規約を確認した上で利用する必要があります。

また、パスワードが分からなくなったとき、表示された時間を待ったり、電源を切ったりしないでください。端末右上にWi-Fiのマークが出ていれば処理も早く済みます。

さて、近年、日本語指導を必要とする児童生徒が増えつつあります。2025/1/7付INFO90号「知っておきたいICT」に2024/12/25中教審の諮問資料P.46の「小学校35人の学級における多様性」の図を掲載しています。この資料も、現在は令和7

### アプリ利用規約を遵守

2024/8/6付INFO80号「知っておきたいICT」にGoogleGeminiの利用規約を掲載していますが、Googleから、Google Workspace for Educationユーザーすべての年齢層で利用可能となるという連絡がありました。  
今後、GoogleGeminiアプリを利用した授業も全

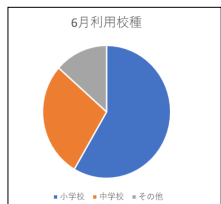


年1月29日時点版となっていて、「日本語を家であまり話さない子供」は小学校で1.0人(2.9%)中学

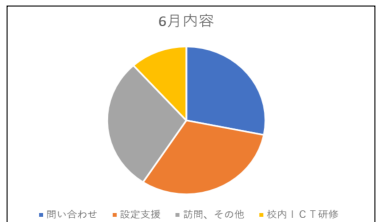
周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

## 6月の活動状況

<校種別> 89件  
小学校52、中学校25、その他12



<内容別> 103件  
○電話等による問い合わせ等 29  
○設定支援 32  
○訪問、その他 30  
○校内ICT研修他 12



山口県が中学校に導入した生成AIサービス、スタディポケットに入れないという事例が続きました。  
これまでも紹介してきましたようにiOSのバージョンが古い、これまでに端末を使っているうちに、しだいに不要なものがメモリにたまり、バージョンアップできないという典型的なものです。  
この場合、預かって「リセット」処理するようになります。

本年度から全県で始まったサポートセンター経由ではなく、直接電話をもらった場合、本体のサインイン、学びポケットのサインインおよびミラシードをホーム画面に追加して届けています。  
その際、アカウントの確認をしますので、学年

入れる枠や「1」「2」「3」「4」と得点枠を設け、読み取り前に、その解答を採点して該当数字横に「○」を付けています。その後、「○」を読み取っています。  
動作環境の整備をすれば、デジタル技術を使って採点の効率化ができます。

## 知っておきたいICT

<動作環境の整備>  
掃除ロボットの注意書きには、「掃除ロボットが動きやすいように片付ける」とあります。デジタルには「動作環境の整備」が必要です。

さて、中学校の採点支援システムは、解答が記号であれば、採点は容易です。しかし、テストは選択クイズではありませんので記述による解答も重要です。  
そこで、ある中学校では、記述式解答欄の横に得点を



<授業展開(45分)>

○導入(10分)

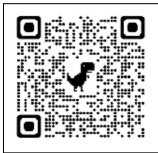
一般的に生成AIは、手書きの文章を活字(デジタル)に直し、それから類推される問題や解法支援をしているのですから、小単元のまとめとして児童生徒に付箋を配り、問題を自作、手書きさせます。

私は500円を持って、くだもの屋さんに行きました。リンゴ180円、ミカン80円で、どちらも買います。一番効率のよい買い方をお願いします。

私は500円を持って、くだもの屋さんに行きました。リンゴ180円、ミカン80円でどちらも買います。一番効率のよい買い方をお願いします。

司会者はグループ内の問題をひとつに絞ります。○ AIと考えよう(10分)

構想です。個別最適な学びは、先生からの学習の個別化と学習者からの学習の個性化の2つの側面を含んでいます。



生成AIを議論する授業に

中学校には生成AI・学習アシスタントアプリが導入されています。

授業内容を送信して、生成AIから希望に応じた関連問題を提示してもらい、解法支援を受けます。家庭学習、振り返りに効果的で、個別最適な学びでの学習の個別化、個性化が期待されます。

成できたとは言えませんし、そもそも利用視点を見誤っていると考えます。学校は、他の人と一緒に学び、そこにある価値、体験を共有できることが魅力なのです。

そこで生成AIを利用した次のような授業スタイルが考えられます。



学級では、司会者、記録者、発表者、ファシリテーター役を決めたグループ作りをしておきます。

<授業のねらい>

思考力、判断力、表現力を育成する。

- 1 計算力に加え、条件を満たす組み合わせを探る
2 思考力 AIとの対話から、解答の多様性や「自分なりの納得」を探る

一方で、生成AIの回答の利用者層への最適化が図られ、対象年齢が拡大しています。先にお知らせしたGoogleの教育アカウント付与を受けている対象者へのサービス拡大も間もなくです。

とは言え、生成AIの指示通りでは、次世代を生き抜く児童生徒に身につけさせたい資質能力が育

知っておきたいICT

<やまぐちスマートスクール構想2.0>

1人1台タブレット端末などのデジタル学習基盤の充実・強化とさらなる活用促進により、個別最

適な学びと協働的な学びの一体的な充実や、誰一人取り残されない学びの保障、子どもと向き合う時間を確保するための働き方改革の推進など、デジタルを活用してリアルな学びを充実させ、子どもたちの可能性を広げる

Table with 2 columns: 自分の買い方 (リンゴの数とミカンの数) and その理由・工夫したこと. Rows include AIの買い方 and 比べてみてどうだった? (違い・気づき)

Googleアプリを立ち上げ、「手書き付箋」の文字を読み取ります。すると画面下に「AIによる概要」として、「500円でリンゴ1個(180円)」とミカン2個(80円x2=160円)を買うことができます。おつりは160円です。」



○グループで検討(15分) 「AIの買い方は効率的か?」「もっと良い買い方はある?」を話し合い、予算内で果物の数を最大化する、あるいは両方買う工夫を考えます。

そして、グループで話し合い、結論づけていきます。おつりを他のことに使うか、持っていたお金をここで使い切るかという議論を期待しています。

○共有と振り返り(10分) グループごとの買い方の提案と理由を発表した後、「AIの考えから学べたこと」を上シートの下に「振り返り」を設け、記入していきます。

協働的な学びと、授業感想ではない「振り返り」が児童生徒の学習の個性化には必要です。

何より、提示された主課題に応じた児童生徒の手書きの問いに、生成AIの回答が「解答として成立しているか」と話し合っているところに思考力、判断力、表現力育成の場が期待されます。

生成AIは問い方、プロンプトしただけで期待する回答が変わります。 ※ 本文、イラストは生成AIで加工しています。

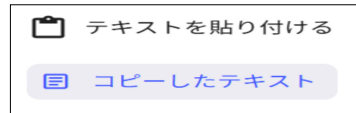
周南市教育委員会 教育情報化推進室 ICT教育アドバイザー 周南市教育研究センター



ド」が要求されます。



Googleドライブからアップロードすることが一般的ですが、画面右下には次の表示もあります。



そこで、話しあつた手書きのボードや用紙を、そのまま前号で紹介したGoogleアプリで読み取り、テキストにしてコピー、貼り付けをします。



例として、先日、中堅教員と「学校教育を取り巻く環境」としてディスカッションした際の用紙上の手書き文字をテキスト変換して、アップロードしました。

が低くなっている」、「情報機器の普及による、その利用時間の増大と勉強時間の減少」、「保護者と学ぶ時間の減少」としています。

正解主義からの転換、AIを利用しつつも、内容の吟味や批判場面のある考える授業が求められます。

◆テキスト(原文)

- 社会教育
- 正解主義
- 同調主義
- 学校教育
- 生涯学習 (社会教育)
- 学ぶことで、今より、よりよくなる
- 生活向上
- 知織は身をたすける
- リテラシーの向上
- 識字能力の向上
- 地域の子どもは地域が支える
- 地域資源は全てが教育資源
- コミスク
- 学校運営
- 学校支援
- 地域支援
- 地域の人に関わる 学校をツールに
- まちづくり
- 魅力あるまちづくり
- 生徒支援
- 多様性への対応
- 貧困からの脱脚 協働的な学び
- 市や県の行うこと
- 学校の役割

NotebookLMの画面は、ソース、チャット、Stadioに3分割され、中央のチャット欄には、ほぼ瞬時に概要が文章で示されます。

概要(原文)

社会教育と地域共生の関係性に焦点を当てています。学校教育が正解主義や

同調主義に偏りがちな一方で、生涯学習としての社会教育は、個人がより良く生きるための学び、具体的には貧困からの脱却や識字能力の向上といったリテラシーの向上を促すと示唆されています。また、地域の子どもを地域が支えるという考えに基づき、地域資源を教育資源として活用することの重要性が強調されています。

コミュニティ・スクール(コミスク)を通じて、地域住民が学校運営や支援に関わり、学校をツールとした魅力あるまちづくり、そして生徒支援や多様性への対応、協働的な学びを推進する道筋が示されています。

さらにマインドマップで単語のつながりが表示されている他、発問やその解答例、論文課題、タイムライン、配付資料が提案されます。

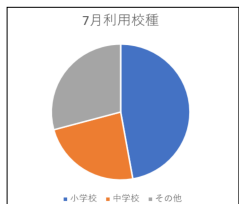
また、Stadio欄では、まるでラジオ番組のような音声解説が数分で作成されます。

表示された内容をこのまま使うのではなく、人の力で吟味、修正します。

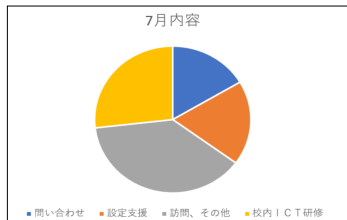
周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

7月の活動状況

<校種別> 89件  
小学校42、中学校21、その他26



<内容別> 97件  
○電話等による問い合わせ等 16  
○設定支援 18  
○訪問、その他 37  
○校内ICT研修他 26

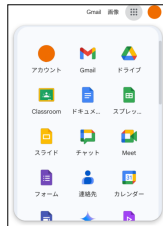


学期末の点検によるキーボード、コード、アダプタ動作不良による交換が主でした。

Google NotebookLM

このサービスが全年齢層に開放されます。

Google Chromeを開き、教育アカウントでサインインします。



「タイル」をクリックすると「メニュー」が表れ、さらにスクロールすると右のようなアイコンが新規追加されています。



このアイコンをクリックすると、まとめたい「ファイルのアップロー

別に平成25、28年、令和3年、令和6年度に経年変化を把握・分析するため、抽出校に問題はほぼ同じで非公開として行っています。

7月31日に結果が公開され、「中学校数学以外のスコア



知っておきたいICT

<令和6年度全国学力・学習状況調査 経年変化分析調査・保護者に対する調査の結果>

国立教育政策研究所は全国学力・学習状況調査とは



現、発表、活動、その他)は、授業の種類、先生や児童生徒の実態に合わせて、例えば項目名の「活動」を左下の表中のように「実験」というように変更できました。

加者全員で入力できます。

長期休業中も各校で「学力」に関する研修が行われています。

2学期に「実践」される場面も多いと思いますが、今求められている次世代を生き抜く児童生徒に必要な資質能力を育成すること、その資質能力となる学力の三要素が大切です。

個々の授業の中で行われている協働的な学びのある授業をツールを使って分析しながら、その育成過程を視覚化し協議す

由記述を、参加者全員が見ながら、そのデータをもとに具体的な児童生徒の変容やつまづきを協議していきます。

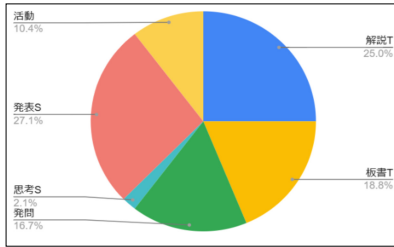
事前準備として、主催者はGoogleClassroomを使って参加者へ、この「授業記録ツール ver2」を配信します。そして、①「T支援」、「S活動」記録者、②場面項目記録者を決めます。③「自由記述」は、参加者全員が入力できることを伝えます。

### 授業記録ツールver.2へ

2025年3月5日付INFO94号の「授業記録ツール」は、スプレッドシートを使って時間表示していますが、使うOSによらず動作するようになっています。

そして、先生の場合項目(解説、演示、板書、発

問、評価、その他)、児童生徒の場面項目(思考、表



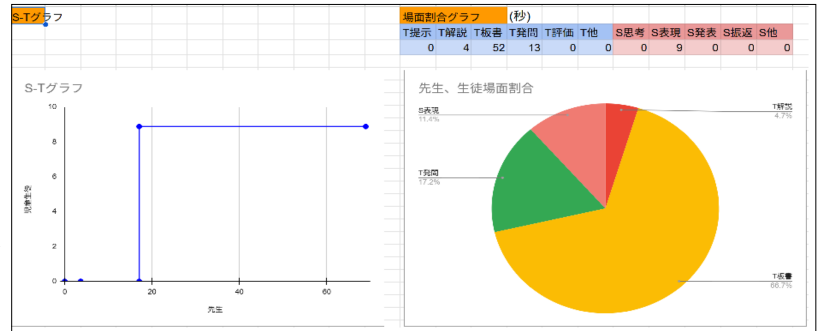
しかし、授業記録(左下の表)の部分について、「場面の時間に応じた円グラフがよい」や、記録者であっても、せっかくの授業提案なので、授業から学びたいということで、記録の簡素化を反映したバージョンアップをしました。

場面開始時刻	開始時刻	時差(秒)	t(のべ秒)	s(のべ秒)	解説T	演示T	板書T	発問指名T	評価T	思考S	表現S	発表S	活動実験
t	10:30:00		0	0				1	1				
s	10:31:50	107	107	0									1
t	10:32:31	40	107	40			1	1					
s	10:37:06	275	382	40									
t	10:38:15	69	382	110	1			1					
s	10:39:53	98	481	110							1		
t	10:40:46	53	481	163	1								
s	10:41:15	28	509	163									
t	10:47:05	351	509	513				1					
s	10:47:37	32	541	513									1
t	10:48:48	71	541	584				1					
s	10:49:08	20	561	584									1
t	10:49:57	49	561	633	1		1						
s	10:50:09	12	573	633									1
t	10:51:05	55	573	689	1		1						
s	10:51:33	28	601	689									1
t	10:52:28	55	601	744	1		1						

授業記録	Tの開始後、Sの開始までは「Tの支援活動」です	先生Tの支援例 ~ 解説、演示、板書、発問と指名、評価等	生徒Sの行動例 ~ 思考、表現、発表、活動・実験等															
T支援	S活動	時刻	tデータ	sデータ	T(のべ秒)	S(のべ秒)	T提示	T解説	T板書	T発問	T評価	T他	S思考	S表現	S発表	S板書	S他	メモ(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	←開始 16:03:36	0	0	0	0	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16:03:40	4	0	4	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	16:03:53	13	0	17	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16:04:02	0	9	17	9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

記録されたデータは、当日の記録としてはもちろん、参加者や参加者の各校での

これにより、「T支援」、「S活動」を記録する人は、チェックボックスにチェックを、場面記録をする人は、該当項目をチェックするだけとなります。また、「メモ自由記述」欄は、これまで通り、参



### 知っておきたいICT

<サポート終了の確認>  
いよいよwindows10のサポート終了が迫ってきました。2000~3000万台のPCが対象と言われているので、数年をかけて啓発され

てきたものです。各校でも、昨年度の備品点検の結果を受けて、①該当のPCがあるか ②買い換え済みか ③またはPCがwindows11へのバージョンアップ済みか、この確認を必ず済ませてください。

学校にあるwindows10のPC内にあるHDDやSDの処理は教育研究センターで行うことをすでに案内しています。ご連絡ください。その上で「処分」となりますので、ご注意ください。セキュリティソフトも使えなくなります。

ることができません。

「授業記録ツール ver2」は、いわゆる公開授業を想定しています。その際、記録化されたS-Tグラフ、場面割合、自

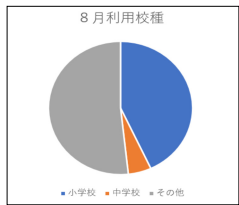
復伝・実践に使うこともできます。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

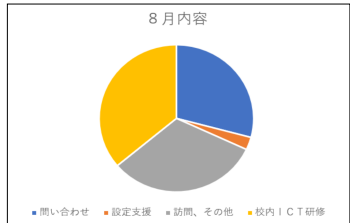


## 8月の活動状況

＜校種別＞ 58件  
小学校25、中学校3、  
その他30



＜内容別＞ 72件  
○電話等による問い合わせ等 21  
○設定支援 2  
○訪問、その他 23  
○校内ICT研修他 26



7月26日までに各校から提出された学習者・指導者端末管理台帳の照合を始めていることや、中堅・ベテラン教員を対象とした訪問研修により、「その他」が増加しています。

中堅・ベテラン教員の研修では、INFO88号にある「イノベーター理論」や「エコーチェンバー」を教育界に当てはめ、

- 1 どのようにして「新しい知識」や「もの」が広まっていくのか
- 2 広めるためのインフルエンサーやアンバサダーの役割について
- 3 教育界には無縁のように思えても、理にかなっていること
- 4 学級の多様化(INFO90号)が進む中、「協働的な学び」の重要性が増していること

5 その学びによって望ましいエコーチェンバーが学級にできること  
このようなディスカッションをしています。  
参加者は、まさに自身自身の学びの「個性化」に取り組みられています。

## セキュリティポリシーの改定

周南市立学校情報セキュリティポリシーの改訂が各校に届いています。



これは、  
○ 周南市立学校情報セキュリティ基本方針  
○ 周南市立学校情報セキュリティ対策基準  
の2つから成っています。  
このうち、「2 教職員等の遵守事項」では、USBの取り扱いについて、次のように改定しています。  
「利用するUSBメモリ等の外部電磁的記憶媒体は、教育委員会又は学校から支給された公的な媒体のみ利用すること。」であったものから、「～教育委

員会又は学校から支給された公的な媒体を使用しなければならない。その他の媒体の使用は禁止する。」としています。

学習に関するデータはクラウド経由で利用するようにしてください。  
校務に関わることは、ほぼ持ち出すことはできません。

「3 研修・訓練」では、「(1) 情報セキュリティに関する研修・訓練 学校情報セキュリティ統括責任者は、定期的に情報セキュリティに関する研修・訓練を実施しなければならない。」としています。

各校にすでに案内されている情報セキュリティ研修は、教職員(この中で、教職員とは「臨時的任用教職員、非常勤講師等を含めた教職員全員」としています。)が受けることを明記し、ポリシー遵守をねらいとしています。

いよいよ9月10日までとなっています。

さらに、情報資産の廃棄については、情報の機密性のレベルはあるにしろ、

- 紙媒体の書類の細断、熔解またはこれに準ずる方法
- 電磁的記憶媒体を利用しなくなった場合は、復元できないように処置すること

○ 情報資産の廃棄・リース返却の場合、管理者の許可を得て、行った処理について、日時、担当者及び処理内容を記録すること

(各校の備品一覧表には「異動日」を記載する欄がありますので、情報端末は特にご注意ください。)

○ 廃棄を外部委託事業者に委託する場合、廃棄する情報資産を業者が引き取る際、教育委員会事務局職員又は教職員等が立ち会うこと

windows10のサポート終了に伴い、3年かけて各校にある該当パソコンの更新を告知してきました。

その中で、パソコン本体にあるハードディスクやSDは教育研究センターで取り外すと案内していますが、これは、セキュリティポリシーの情報資産の廃棄に準じています。

各校の判断で使用を続けたり、処分したりしないでください。

さて、各教室のキャビネット内にはほこりがたまっていきます。発火の原因となりますので、点検清掃をお願いします。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

## 知っておきたいICT

＜著作権保護の意識を＞

2学期が始まり、特別活動や総合的な学習で、資料集めをして発表する機会も多くなります。

授業でのデジタル利用は公衆送信権の範囲内と拡大

解釈して、何でも資料として活用することには注意が必要です。

引用した資料によっては、関係の協会に加入していないものがあります。

音楽も同様です。それぞれ、個別の利用許諾や利用料の支払いが発生するもの

もあります。

さらにイラスト類、翻訳アプリ等も利用場面を制限しているものもあります。

「デジタルは劣化しない」ため、「利用規約」により制限をかけています。

これも「情報リテラシー」を学ぶ良い機会です。



### NHK ONEの導入と対応

このことについて整理してみました

#### ① 背景と制度変更

NHKの放送受信規約が改定(2025年10月1日~)

テレビ放送だけでなく、インターネットによる番組配信も「必須業務」に

これに伴い、新サービス「NHK ONE」が開始

#### ② 学校での利用に関する対応

NHK for Schoolの利用が多い学校では、NHK ONEの導入が必要

利用には以下の情報の入力が必要:

- 「学校コード」
- 「確認キー」

各校には、教育委員会から取得手順を示した文書が届いています。

手順に従って取得・入力をしてください。

入力対象: 指導者用端末、学習者用端末、備品PC等

#### ③ 個人利用の場合

個人でNHK ONEを利用する場合は、受信料の支払いが必要

現在NHKプラスを利用している人はNHK ONEへスムーズに移行できます。

ネット環境があれば、情報を得ることができますが、災害時等には、「フェイクニュース」が拡散しやすいため、正しい情報を見極める力が重要です。

誤った情報に惑わされないことはもちろん、拡散に加担しない「道徳心」も求められます。

- このことから、10年前なら扱わなかったこと

も、今では教育活動の中で扱うことが求められます。

とは言え、「限られた授業時間(1日6単位時間)」です。各学校が個別に精選したり、対応したりするのはではなく、地域の実態に即した「カリキュラムマネジメント」を組織として研究考察していくことが必要です。

### 2段階認証から

9月になって、学校代表のGoogleのアカウントにサインインしようとすると、アカウントの乗っ取りや不正アクセス防止のため、学校代表電話が鳴り、認証コード番号が音声案内されるようになっています。

アクセスした端末に、そのコード番号を入力してください。

電話が鳴ることを事前に伝えて、アクセスするようにしてください。

すでにAPPLEでは、アクセスしようとすると、指定した電話、メール、

ショートメールで認証コードが届き、その入力が必要ですし、現在、多くのアクセスサイトで行われています。

### 教育課程で対応する

さて、「迷惑メール」の削除契約をしていたとしても、そのフィルターをくぐり抜け、通販、金融、交通系の大量の迷惑メールが届くことがあります。

この迷惑メールが届くということは、公式サイトに、自分のアドレスが使われ、自動生成したランダムパスワードを使って、複数回のアクセス、アタックが行われている可能性もあります。

それだけに「パスワードは定期的に変える」、すぐにリンク先を開かず、「正式なサイト」での確認が大切です。

もはや、児童生徒すらも知っておく必要のある、この現実を嘆くのではなく、学校は教育課程(学習指導要領)で現実に向きあっていきます。

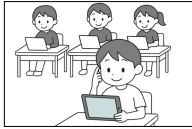
その一端が端末の貸与と学習目的での利用です。

そのことで、現実への基礎的な対応と情報リテラシーを身につけようとしています。

使いながら使い方の基礎を学びます。

学校には、プリントや映像による知識・理解獲得型の講義授業ではなく、①課題の把握、②体験・経験に基づいた根拠の収集、③議論、協議して、

その時の「解」を求める授業を求めています。



### CBTプレで気づく

例年、CBTプレテストの際、レイアウトがずれる、文字が正しく反映されない、最近では突然充電ができなくなった等が確認され、9月2週目には4校で80件程度ありました。40校ありますので、相当数があるでしょう。

ほぼ、iOSの更新がされていないことが原因です。

充電状態で「設定」から「アップデート」します。しかし、メモリ不足でアップデートできない場合があります。

その場合、教育研究センター宛お知らせください。アプリ削除をすればよいというわけではありません。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

### 知っておきたいICT

#### <Googleドライブの活用>

Office2016、Office2019もwindows10とともにサポートが終了します。

すでに、校務用にはMicr

rosoft365がインストールされていますが、その中のPowerPointのアニメーションやビデオ機能は、よくできており、使い方次第で大きな効果が期待されます。

しかし、今後の学習端末の更新も踏まえると、学習用には、グーグルサービス

に変換移行できるように、Googleスライドで表現できるものにしていくとよいでしょう。

そのためにも、まずは、「Googleドライブの使い方」の理解を深めておいてください。



いれば、アップデート可能な状態

### 3 バージョンアップの注意点

古いバージョンやメモリ不足が原因でアップデートできないケースが多発

メモリ不足のまま使用すると、電源が入らない、リンゴグループになるなどの故障の原因に

### 4 指導者用端末でのトラブル

アプリを多く入れすぎるとメモリ不足になりやすい

ネット接続不可の報告も多く、原因はフィルタアプリの誤削除

### 5 情報共有のお願い

同じ学校内で複数人に同様のトラブル正しい情報を周知し、事前確認と適切な管理を徹底することが重要

## 校務PCが止まる

特定の校務PCが頻繁に止まるのが7月ぐらいから始まり、9月には増加してきました。

原因は、校務PCが内部で頻繁に接続認証を繰り返すため、サーバーが「さっきも認証したでしょ」というエラーとなり、その記録が蓄積してメモリを圧迫することで止まると考えています。現在、対処方法を探っています。

まずは、「Ctrl」「Alt」「Del」キーを同時に押してみてください。(大抵は変化なしです。)

数分程度は待って、変化がなければ、電源ボタンを電源が切れるまで数秒長押しします。

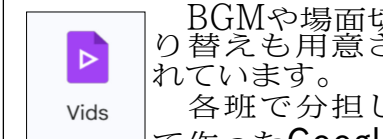
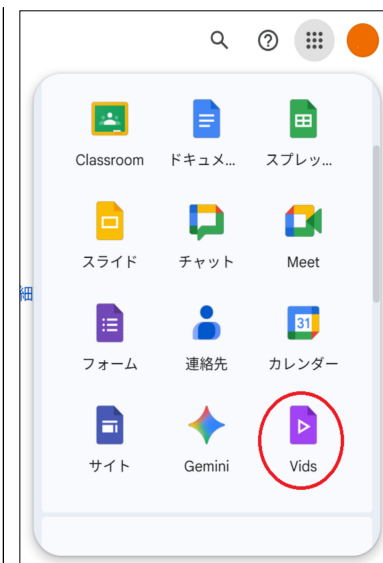
ただし、この強制終了を繰り返すと内部のデータが消えたり、内部の記憶部分のSSDが壊れ、windows自体が立ち上がらなくなります。

繰り返しやることではありませんので、必ず連絡してください。

## Google Vids

GoogleChromeのメニューの中にあるビデオ編集アプリです。

iMovieのような感覚で10分程度のビデオを作成できます。



BGMや場面切り替えも用意されています。各班で分担して作ったGoogleスライドをVidsにアップロードして、それに別に録音しておいたナレーションを挿入して、短時間のビデオ発表をしても良いでしょう。

PowerPoint2019以降のものやMicrosoft365のPowerPointにも録画機能があります。

スライド風ビデオを流しては途中で止め、児童生徒が解説するという場面も実現できます。

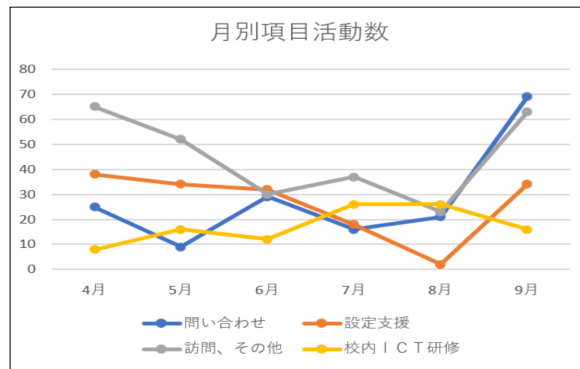
周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

## 9月の活動状況

＜校種別＞ 153件  
小学校88、中学校49、その他16

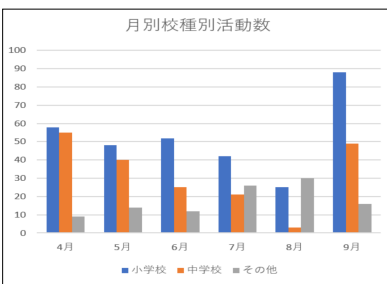
＜内容別＞ 182件  
○電話等による問い合わせ等 69  
○設定支援 34  
○訪問、その他 63  
○校内ICT研修他 16

### ＜内容別＞



## 2025年前期の状況

### ＜校種別＞



### 9月の対応状況と注意点

#### 1 件数の増加

CBTプレテストに関連した不具合対応や端末管理台帳の再確認により、全体件数が増加

#### 2 不具合の原因と対処

一部に「解決済み」と報告を受けましたが、最新のiOSは「18.7.1」

「設定」アイコンに赤い数字が表示されて

たものです。

Googleドライブにアップロードして、校務用PCでダウンロードするようにしてください。

USBの紛失、盗難の心配がなくなります

また、PTA関係者がデー

タを学校に持ち込まれることもあると思います。

USBの場合、備品PCにインストールしたウィルス対策ソフトで「検査」した後に使用してください。簡単にデータ移行しないでください。

## 知っておきたいICT

### ＜データの持ち込み＞

2週間後のサポート終了に伴い、学校に持ち込まれるデータは、windows11または、有償サポートを受けたPCで作成され



くれます。  
**最新のT-Netマニュアル**  
 をアップロードしておけば、操作に困ったときにとても役立ちます。



### Google NotebookLMを使う2

本紙104号で紹介したGoogle NotebookLMに市内で使っているT-Netのマニュアルをアップロードします。  
 マニュアルは周南市教育研究センターのページ、下図の赤丸の部分をクリックするとダウンロードできます。



例えば「校長先生のためのT-Net」をクリックするとPDFマニュアルがダウンロードされます。

### 知っておきたいICT

<この機会を逃さない>  
 windows10のサポート終了とともに、Office2016、2019のサポートも終了することも、すでに本紙で紹介してきたところです。

これをGoogle NotebookLMにアップロードすると画面左側のソース欄にファイル名が表示されます。

また、画面中央のチャット欄には複数枚のPDFから概略を表示してくれます。

その下に、「調べたいこと」を入力、送信ボタンをクリックすれば、該当部分を丁寧に表示して

Windows11のPCになっているから良いではありません。

互換性のあるソフトも出ていますが、全てにOfficeをインストールする必要があるのかどうかは学校の実態しだいです。

先生がデジタル教科書や

校務パソコン内に自分のtアカウントでつくること、T-Netだけではなく、その機能の有効性に気づくはず。また、Google NotebookLMの右画面のスタジオ欄には、ラジオ番組のような音声解説、

説明スライドを作り画面提示するのではなく、この本文にある動画解説を利用して、児童生徒が協働的な学びの中で、例えばGoogleスライドやFigjamを作り上げる学習スタイルへ転換できる、この機会を逃さないでください。

スライド動画になった動画解説、索引として使えるマインドマップ（該当の文字をクリックすると、情報が表示されます。）、指導案のように使えるレポート、クイズのようなフラッシュカード、そしてふりかえりとして使えるテストがあります。

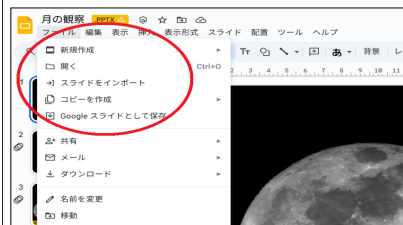
各ボタンをクリックすると、その下段に作成されます。

このGoogle NotebookLMに使えるデータはPDF、Googleスライド、Googleドキュメント、Googleスプレッドシートです。

例えば、パワーポイントの場合、一旦、Googleドライブにアップロードします。

それを開くとGoogleスライドで展開されます。

そのGoogleスライドの「ファイル」から「Googleスライドとして保存」をクリックすれば、Googleドライブ上に保存されます。



これをGoogle NotebookLMにアップロードすれば、音声解説や動画解説が5分程度で作成されます。

動画解説はビデオ形式になっていますので、再生を止めては自分の言葉で補足するとよいでしょう。

また、音声解説はパワーポイントの「音声」として挿入できます。パワーポイントのスライドショーの録画機能を使って、自分なりの動画にすることもできます。

Google NotebookLMでは、できるだけ「ひとつのテーマごとにノート」を作ると内容が絞れ、分かりやすくなります。

### Google Keepとの連携

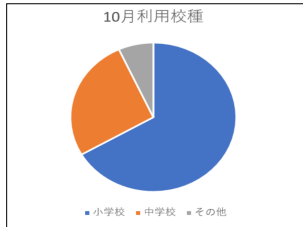
手書きメモとして使えるGoogle Keep、付箋のような感覚で使えます。しかもGoogleドキュメント上にデータとして出力できます。児童生徒に配った付箋をGoogleレンズでテキスト化して、Googleドキュメントに貼り付け、Google NotebookLMにアップロードすれば、学級での意見の傾向やまとめを数秒以内に表示できます。

周南市教育委員会  
 教育情報化推進室  
 ICT教育アドバイザー  
 周南市教育研究センター

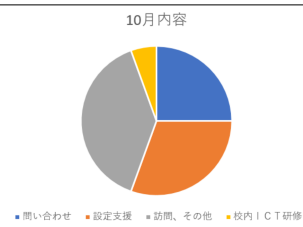


### 10月の活動状況

<校種別> 132件  
小学校88、中学校35、その他9



<内容別> 164件  
○電話等による問い合わせ等 41  
○設定支援 50  
○訪問、その他 64  
○校内ICT研修他 9



CBT実施に伴う端末の処理の依頼が増加して、ICTサポートセンターには70件あまり。こちらには、総数として132件ありました。合計では200件を超える対応となりました。

すでにお知らせしていますが、事務室・事務担当者に処理の必要な端末を預けられていることが多いのですが、サポートセンターに連絡している端末なのか、こちらに連絡された端末なのかが分かるように「付箋」を貼っておいてください。

その際、氏名が分かるようお願いしていますが、「状態」(パスコード不明、メモリ不足、画面割れ、キーボードエラー、電源不良等)を追記ください。連絡は、いずれでも構いません。

さて、サポートセンター経由では、キーボードエラーが大半で、画面割れ数台と7台の電源不調が届きました。

この電源不調のうち4台はiOSを最新にすることで復旧しています。

導入から5年経過しますので、バッテリーの劣化は進んでいます。とはいえ、新品でも、1時間目から6時間目までのフル使用は難しいものです。

学級の児童生徒規模しだいですが、キャビネットのタイマーを使わず充電することもできます。

しかし、これからの時期は「加湿器」を教室に置くところが多く、ヒューズが落ちやすくなります。

### 発表の機会が増える中で

この時期は写真類を発表物に掲載することが多く、これまでのINFOでも、著作権、肖像権、人格権、写真の所有に関する留意事項を掲載しています。

ランサムウェアやマルウェアの影響を受けにくいと言われています。

ただし、PCやタブレットによっては、内蔵ものが使えなくなり、USBで外付けとなりますが、ノートタイプは、ほぼ支障なく快適に動作しています。

そこで、前回のGoogle notebookLMに「INFO」をアップロードして確認する方法を示します。

教育研究センターHP左の「INFO」をクリックします。



すると、画面右に「アーカイブ」として、年度ごとにひとつのPDFにまとめたものがあります。



今年とINFO@2024(第72号~第95号)の2年分程度をそれぞれクリックすると、一般的に自分のPCの「ダウンロード」フォルダに保存されます。

次にGoogleChromeでGooglenotebookLMを開きます。「GooglenotebookLM」を検索しても構いま

せん。画面中央の「チャット」部分の「ファイルのアップロード」をクリックして、自分のPCからアップロードします。



近年2年分をアップロードした後、「学校で取り扱う写真の留意事項をあげてください」と入力すると、項立てしたものが表示され「まとめ」が次のように表示されました。(表示内容はいつも同じではありません。)

学校で写真や画像を取り扱う際は、著作権法や利用規約を遵守し、特にインターネット上のイラストや楽曲の使用については、著作者の権利(人格尊重)を尊重することが重要です。

また、児童生徒の活動を撮影した写真は、学校の記録・評価用としてのみ保存し、評価が済んだら端末から削除するなど、適切なデータ管理とプライバシー保護を徹底する必要があります。

これは、デジタル社会における責任として、アナログ社会で通用していた考えから転換する必要があります。

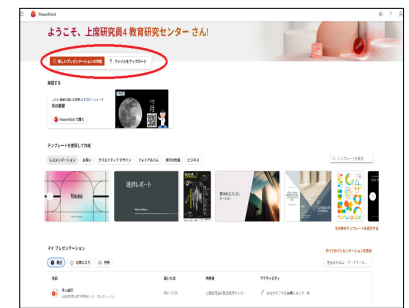
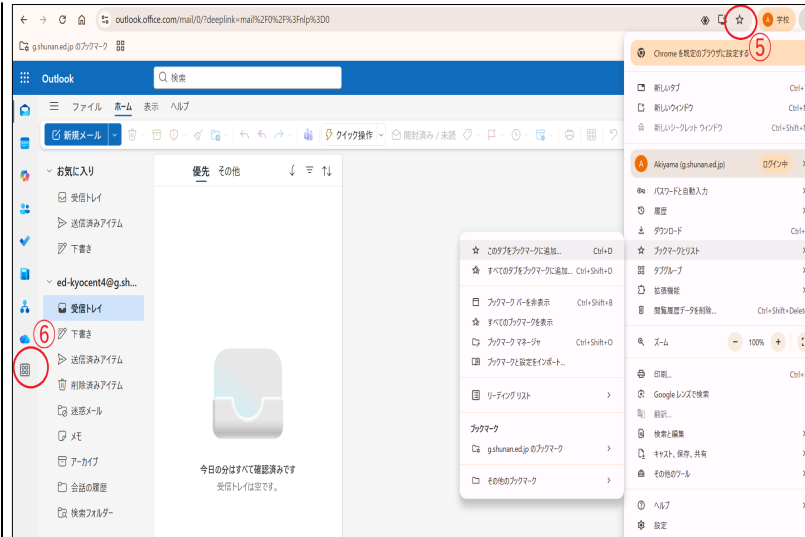
周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

### 知っておきたいICT

<Chrome OS Flex>  
Chrome OS Flexは、古いPCやMacにインストールできる無料のOSです。今回のwindows11のアップデート要件を満たさない

PCやタブレットの再活用例として、昨年から実証実験校で試してもらっています。

本体は4GBのRAMと16GBのストレージがあればよく、さらに内蔵HDをSSDに取り替えると、その快適さはワンランク上です。セキュリティ面でも優れ、



### PowerPoint for the web

Windows10、Office2019のサポート終了に伴い、Windows11へのアップロードや買い換えが進んでいます。

一方で、前号で紹介したChrome OS Flexをインストール（Chromebook化）すれば、PCのほとんどが2～3年後のGoogleのサポート切れまで使用できます。

このPCやChromebookで無料のPowerPoint for the web(以下「Web版PowerPoint」)を利用します。現在、指導者・学習者はMicrosoft A1契約となっていますので、web版PowerPointを利用できますが、アプリ版PowerPointは参照のみとされています。レイアウト変更は編

集となり許諾されていません。

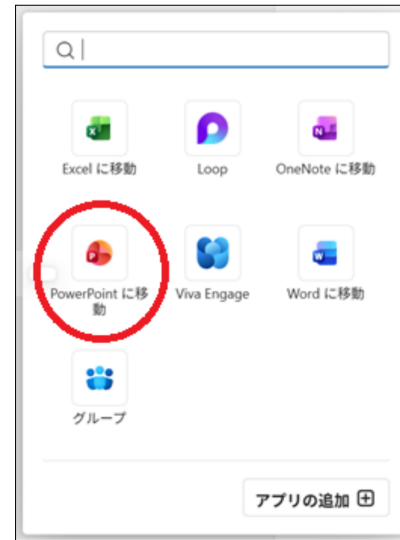
魅力は、web版Office（PowerPointを含む）が容量無制限で使用できることです。iPad、Chromebookに関わらず利用できますが、マクロは機能しません。

#### <アクセス方法>

- ①学習者・指導者アカウントでGoogleChromeを開きます
- ②「Outlook」を検索
- ③「Outlook」の案内ページでサインインをクリック
- ④アカウントを入力

校務PCでよく見るメール画面になります。右上図中⑤の☆部分をクリックして「ブックマークに追加」をします。

これでGoogleChromeを開けば、画面右上の「全てのブックマーク」というフォルダに、このページが追加されます。次回からはこのフォルダをクリックして始めます。さらに、上図中⑥をクリックすると右図のアプリ一覧が表示されますので、「PowerPointに移動」をクリックすれば、PowerPoint for webが開きますので、新規作成、編集を



することができます。

- ・保存先は学習者・指導者アカウントでのOneDriveとなります。この容量が無制限なのです。
- ・右上図の赤丸枠にプレ

- ゼンの新規作成、アップロードボタンがあります。
- ・「アップロード」を選べば、校務用PC内の「ドキュメント」に保存したデータをアップロードできます。
- ・「アニメーション類」もほぼ同等に動作します。
- ・ただし、Web版PowerPointで新規作成の場合は、多少の機能制限がありますが無理なく使えます。

Chrome OS FlexをインストールしたPCやChromebookでも同じで、Web版PowerPointを「ブックマーク」に追加します。

Googleドライブからも「ドキュメント」からでもアップロードでき、児童生徒にプレゼンを提示できます。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

### 知っておきたいICT

#### <演奏に関する著作権>

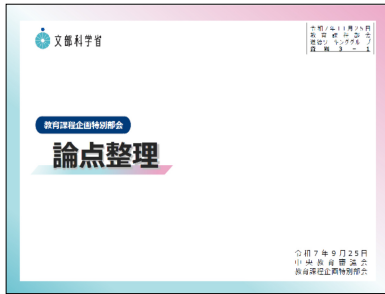
著作物の利用は授業目的の公衆送信補償金制度により、「授業」（特別活動、部活動を含む）における公衆送信の許諾を得る必要はありませんが、楽譜のコピーは

許諾されません。また、「授業ではない」場面（職員会議、保護者会、コミスク関係）での音楽を含む著作物の使用は別途許諾が必要です。そして、許諾される音源は購入したものあり、サブスク経由のものは含みませ

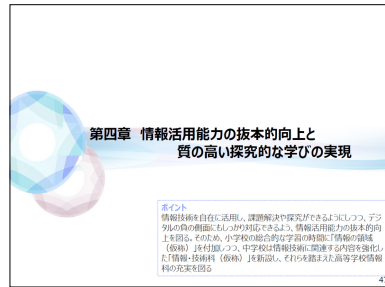
ん。購入したCDが学校使用をJASRACに事前に申告しているものであれば必要はありません。「教育目的」という拡大解釈や、誤っていることを踏襲することなく、デジタル社会になっているということにご注意ください。



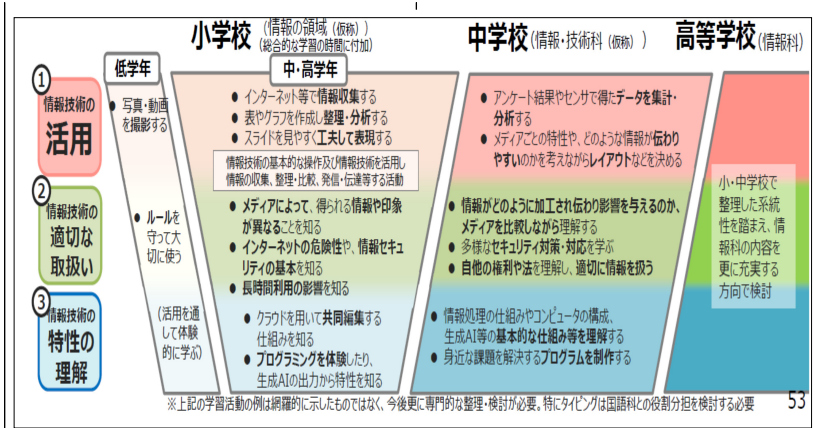
が進んでいるようです。



この論点整理が文章ではなく、プレゼン形式になっているところからも、「分かりやすくする」意図が読み取れます。

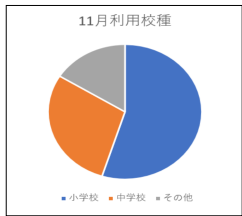


「第四章 情報活用能力の抜本的向上と質の高い探究的な学びの実現」のポイントとして、「情報技術を自在に活用し、課

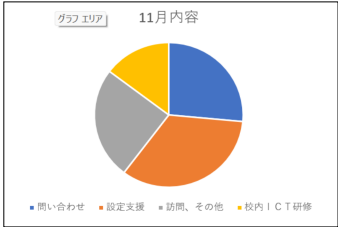


### 11月の活動状況

＜校種別＞ 62件  
小学校34、中学校18、その他10



＜内容別＞ 68件  
○電話等による問い合わせ等 18  
○設定支援 23  
○訪問、その他 17  
○校内ICT研修他 10



10月のwindows10のサポート終了に伴う備品PCの買い換えによる設定、既存の備品PCのwindows11へのバージョンアップ依頼がありました。9月、10月の状況に比較すれば落ち着いています。

一方で小学校低学年でのタブレット使用機会が増えてきています。そのためバージョンアップや本体交換があります。

さて、パソコン室のPCは「windows10のサポート延長」を行っており、その対応が済んでいます。

### 論点整理

次期学習指導要領の諮問を受け、9月25日、その論点整理が示され、各ワーキンググループでの議論

た改善を求めてきた。」とあります。「平成5年通知」とは、事務次官通知として中学校の進路指導を出口指導から生き方指導へ、指導の転換を求めたものです。そして、業者テスト(採点も業者)の廃止、小学校では一般的である購入テストと

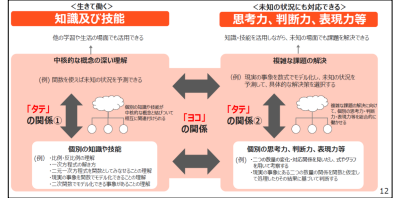
しても、その結果を進路指導資料として使わないことを求めたものです。同時に、起こりうる多様な生徒に対応するため、学力試験だけによらない多様な選抜方法、高校・大学改革も求め、本県では今年、「特色推薦」が行われます。

題解決や探究ができるようにしつつ、デジタルの負の側面にもしっかり対応できるよう、情報活用能力の抜本的向上を図る。」とあります。

そのため、上図のように小学校の総合的な学習の時間に「情報の領域(仮称)」を付加しつつ、中学校は情報技術に関連する内容を強化した「情報・技術科(仮称)」を新設し、それらを踏まえた高等学校情報科の充実を図る」とあります。

「論点整理」には、「この中では、改訂を待たずに行うべきこととして、生成AIを含む情報技術の活用が深い学びに繋がるよう、その好事例とともに、深い学びに繋がりにくいと考えられる事例も発信すべき」とあるなど、随所に次期学習指

導要領を待たずして、行うべきことが整理されており、現行の指導修正に気づかされます。



評価の在り方については、生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」というそれぞれのタテとヨコとの関わりを評定に反映し、「学びに向かう力、人間性等」は、文章評価に再整理するという方向性が示されています。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

### 知っておきたいICT

＜平成5年通知＞  
「論点整理」p.83、「中高の円滑な接続に資する高等学校入学者選抜の在り方」の「現状と課題」には、「平成5年通知以降、中学校の教育課程の趣旨に即し



gleClassroomを使って共有したスプレッドシートに反映、加工しています。これにより、日常の授業でのGoogleClassroom

の利用に、先生が慣れる目的もあります。新しいものが入ると、よく「研修」と言われますが、この支援ツールの

### AI活用ガイドライン

昨年12月26日「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドラインVer. 2.0」(文科省初等中等教育局)



p.14「Box-4. 教職員による校務での利活用例」では、「たたき台」として利活が求められています。

p.18「Box-5. 学習場面において利活用が考えられる例、不適切と考えられる例」の「不適切と考えられる例」では、  
・感性や独創性を発揮させたい場面、初発の感想を求める場面等で安易に使わせる

・テーマに基づき調べる場面などで、教科書等の質の担保された教材を用いる前に安易に利用する

・教師が正確な知識に基づきコメント・評価すべき場面で、教師の代わりに生成AIの出力のみに頼る  
・定期考査や小テスト等に使わせる(学習の進捗や成果を把握・評価するという目的に合致しない。)(「知っておきたいICT」に続く)

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

### 支援ツール

Chromebookの導入が中学1, 2年生から始まっています。

このChromebookは特別な端末ではなく、GoogleChromeに特化したもので、これまでのINFO紙で紹介してきた右の支援ツールを指導者端末で無理なく使うことができます。

また、バーコードやQRコードも読み取れますし、windows機のように手書き入力変換もできます。

さらにGoogleフォームを「テスト」にした時、児童生徒が「送信」しない限り、他のページを開けない機能を活用できます。数問の小テストでは、回答後の確認、同一質問をシャッフルして再実施

することも可能です。

さすがに「表記ゆれ」した答えまで採点することはできません。「漢字単語」を聞くような質問は、「正しく変換した候補」が出ますので、これはどの端末種であっても工夫が要ります。

この支援ツールは、これまで、各校での希望により提供してきたものです。

基本的にはGoogleフォームを使い、その回答をGoo

### 業務効率化と学習・生活の質向上を支援するツール

#### 日常運用 (日・週)

出席・欠席・遅刻・早退  
健康観察  
バーコード提出物確認  
ToDo型日録/週録  
SUR利用録

#### 学習・評価・可視化

授業記録(S-Tグラフ)  
授業評価  
活動・入賞・資格取得記録  
学級掲示板

#### 安全・設備・通学

備品点検  
安全点検  
通学バス・タクシー利用

#### 保護者日程調整

懇談日程調整  
(Excel併用)

#### 行事・プロジェクト

運動会集計  
地域調べ

#### 名簿・受付運用

バーコード学級編成  
引き渡し受付

#### 生活・ウェルビーイング

生活アンケート  
Fit (Excel併用・個人グラフ)

### 知っておきたいICT

(本文からの続き)

- ・児童生徒の学習評価を、教師が判断せずに生成AIからの出力をもって行う
- ・教師が専門性を発揮し、

人間的な触れ合いの中で行うべき教育指導を実施せずに、生成AIのみに相談させる

進化するAI、2年以内にはAGIが登場すると言われている中で、やるべ

きハードルを見失わないことが重要です。

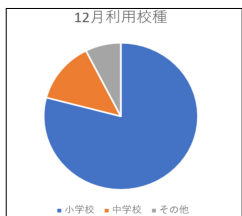
コップを見れば、その固さが想像できるでしょう。それは「経験」により身についた「感」なのですが、これすらも可能とするのがAGIです。

いずれかを採用して慣れることの方が効果的です。従前通りに行っている学校も少なくありませんが、まとめ役での留保・遅延傾向になりやすいものこそ、業務改善・ICT利用対象となるべきものです。

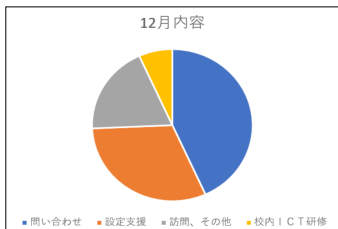


### 12月の活動状況から

<校種別> 67件  
小学校53、中学校9、その他5



<内容別> 74件  
○電話等による問い合わせ等 32  
○設定支援 23  
○訪問、その他 14  
○校内ICT研修他 5



★主な内容を受けて★  
○希望による備品点検ツール、出欠席連絡ツールの配信と設定(INFO113号参照)を行っています

○ウェブ版PowerPoint(PowerPoint for the web)に接続できない  
→校務PCの内部エラーの復旧やSSO(シングルサインオンの確認)で対応

○学習、指導者端末での電源が入らない  
・メモリ不足のまま使い続け、「リンゴグループ」になった  
・または「バージョンアップできない」というメッセージが出ていることを知りながら、使い続け突然電源が入らなくなった  
・そもそもサインインをせずメモリ不足  
→これまでもお知らせしていますが、これらは起

きうる不具合です。連絡ください。  
小学校を中心に、起きうる不具合に気づかれ、未然防止に対応いただき、こちらでリセット作業を進めています。  
学校で処理しようとしていないのが得策です。

また、現在の学習、指導者端末は、「Chromebook」に更新されつつありますが、決して、端末が廃棄されるわけではありません。不具合を放置しないでください。

○ネットにつながらなくなった  
→空き容量を増やそうとして、ネット接続アプリまで削除したためです。

○学習者端末内の動画を校務PCで動画再生できない  
→端末での保存形式が他と異なるために起きています。  
今後のことも踏まえ、学習・指導者端末に、今の中

ちにGoogleフォトをインストールとサインインをしておいてください。  
これで他のPC等でもGoogleフォトにアクセスし、再生できます。またGoogleドライブにも保存でき、活用する機会が増えます。



「写真」とGoogleフォトは初期設定では「同期」となっていますので、「写真」から削除すればGoogleフォトからも削除されます。

今後、「Chromebook」になっていきますので、この操作の必要性が高まっているのです。

○T-Netが突然立ち上がらない。「ファイルが見つからない」というエラーが出る  
学校全体ではなく、特定の校務PCで起きているということが3例あります。→共通点は校務PCをクラウド(Onedrive)と同期していたことです。

デスクトップ上の「T-Net」アイコンは、本来市教委のサーバーにアクセスようになっていますが、「T-Net」アイコンがクラウド上に置かれたために、そのままクラウド内でデータを探そうとして、「見つからない」という正直なメッセージを出していたわけです。

校務PCの更新時に同期しないようにお知らせしますのでご注意ください。  
パソコン画面、右下の雲のマークが無効になっていることがポイントです。



○校務支援システムからダウンロードしたPDFが印刷できない  
→これも3例。夏以降よく起きている校務PCが固まる、動作が遅いという現象に伴うものと、PDFの閲覧ソフトが壊れているものです。この場合、EdgeでPDFを閲覧する方法もありますが、まずは起きたときに連絡ください。

○動作が重い  
→このことだけでは情報が不足しています。  
現在、校務PCにはMicrosoft365がインストールされています。PC内で処理するパッケージ版とは違い、ネット環境に処理速度が左右される場合があります。時には意図せず、動作が止まったり、鈍かたりします。

これですぐに電源を切るのではなく、少し待つてみてください。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

### 知っておきたいICT

<Chromebook>  
中学校1, 2年生から順次、各校に端末更新をしています。  
PCTCから始まる端末番号です。端末の管理台帳、保護者との貸借書の管理を

お願いします。  
もちろん「学習のみに使用する」ということを再度各校で確認をお願いします。  
さて生徒用とともに「予備」となっているものがありますが、指導者用で校長、教頭、教諭、助教諭及び講

師という文科省基準によるものです。  
一方、同数のiPadを「学校への留め置き」します。これは授業中の不具合、オンライン他、各校での必要性への対応のものです。





# Chromebook

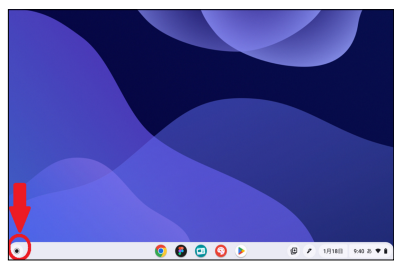
Chromebookは、端的に言えばウェブブラウザのGoogleChromeに特化したPCです。オフラインでも使えますが、一般的にはインターネット環境下で使います。



GoogleChromeを開くと画面右上にアカウントアイコンとともに、右図の「9点ドットメニュー」、「Googleランチャー」どか、様々な呼び方をされる9つの点の集まったアイコンがあります。これをクリック(タップ)することで「Googleアプリ」が表示



示されます。Chromebookでは、画面左下に下図赤矢印の○マーク(ランチャー)や、画面下のアイコンをクリック(タップ)することでGoogleChromeアプリを利用できます。



「Playストア」からアプリをダウンロードできますが、学習用端末ではこの機能は利用できません。また、「アプリ」をインストールして使うのではなく、「ブラウザ経由」を使うとしていますのでご注意ください。

# コマンドキーを使う

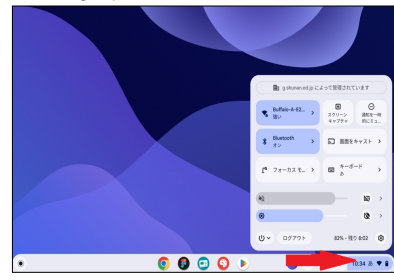
windows機で使われている人も多いと思いますが、マウスの右クリックにより表示されるダイヤログボックスから選ぶのではなく、一部に「Ctrlキー」を使う機会が増えるでしょう。

- ・ Ctrl+O 開く  
ウェブブラウザ上で「Ctrl+O」を押すと、Googleドライブ上の「マイドライブ」が開きます。
- ・ Ctrl+C コピー  
ダイヤログボックスから「コピー」を選ぶより、速く処理できます。
- ・ Ctrl+V 貼り付け  
貼り付けたいセル等使います。いわゆるコピー&ペーストです。
- ・ Ctrl+A 全選択  
ページ内(ファイル内)の全てを選択ができます。文章やファイルの量が多くても1回でできます。
- ・ Ctrl+X 切り取り  
データや文字を簡単に切り取ります。

キーボードには、「ウィンドウ表示キー」(四角いアイコン)があります。押せば使っていたウィンドウが表示されます。



Ctrlキー+ウィンドウ表示キーを押すことで、画面全体のスクリーンショットが撮れます。また、Shift+Ctrl+ウィンドウ表示キーで範囲選択ができます。タブレットモードの場合は、電源ボタン+音量小ボタンの同時押しをします。さらに、画面右下の「時刻表示」付近(下図赤矢印の部分)をクリックすると「ツール」が表示されます。



ここに「スクリーンキャプチャ」があり全画面・一部・ウィンドウ選択を選んで撮る方法もあります。(電源アイコンもあります。)撮影した画像は、画面左下の○マーク(ランチャー)から「フォルダ」を開くと、そこに「ダウンロー

ド」フォルダがあります。ここに保存されています。

Chromebookは、PCとして必要な機能のみを備え、その後の処理に関することはクラウドで行うようになっていくことを知っておきましょう。

# 使い方を学び協働的な学びへ

使い方を知る上で、「はじめよう！私たちのこれからの学び Google for Educationの使い方book」(Summer 2021 発行元：Google for Education)にあるp.3～p.11の「学習の前提」、「Chromebookを使ってみよう」が参考になります。



この中には、Chromebookは閉じれば自動的にスリープモードになることなども書かれていますが、Jamboardの記載がありません。現在、そのサービスは終了し、FigJamへの移行が案内されています。

GoogleClassroomとは別に、今後3年間使用する予定のオクリンクを使うなどして、学校での協働的な学びを進めてください。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

# 知っておきたいICT

<メンテナンスが必要>  
学習端末の経年使用により、バッテリーの充電容量が70～80%程度となることはやむを得ません。しかし、蓄積された不要なファイルでメモリ不足が

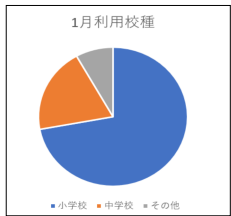
原因のアップデートの失敗、電源を繋ぎずにアップデートを行いリングループ。防げる故障が今月も発生しています。まずは、サインインを確認 → コンセントに接続 → バージョンアップを行います。その結果、容量不足で

「できない」と表示されたら、使用を続けず連絡してください。(メンテナンスが必要です) 指導者用を含め、端末がOS17あるいはそれ以前という古いバージョンが散見されます。「設定」から確認してください。

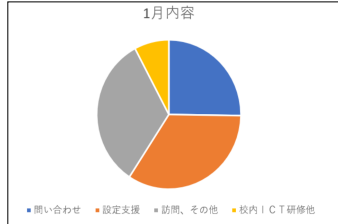


### 1月の活動状況から

<校種別> 86件  
小学校61、中学校18、その他7



<内容別> 103件  
○電話等による問い合わせ等 26  
○設定支援 35  
○訪問、その他 34  
○校内ICT研修他 8



### 知っておきたいICT

<付箋付きスライド>  
Googleスライドに「付箋」機能を持たせたシートを作成しました。希望の学校に配



指導者・学習者端末ともにリセット処理の必要なものが増加しています。4月に行われるCBTなどに2、3月に備えておくことが重要です。現在、小学校を中心に熱心に取り組んでいただいています。

また、中学校へのChromebookの先行導入をしているところですが、登下校中に、本体表面に傷が付くことを心配する生徒の話がありました。これまでの布状のキーボードではありませんので、そういう借り物への心遣いがとても大切だと思いました。

これについては、100円程度からのソフトケースが市販されていますし、自作、または家庭科教材で手提げのソフト袋を採用する学校もあると聞き

信します。配信は、各校所定の「Googleドライブ」の「マイドライブ」に置きます。それを利用者のアカウントに「共有」してください。すると、利用者の「Googleドライブ」、「共有アイテム」に表示されますので、

ます。他市同様、各自で用意されることをおすすめします。

手提げ袋状のものは、端末を使用しないときには机の横に掛けるという方法もあります。

### 「学校と著作権」を題材に

<AIを使った授業提案>  
1月23日の若人の会では、「『学校で集まって学ぶ』意義」を感じる授業を目標に、「学校と著作権」をテーマに行いました。

著作権の取り扱いはもちろん、今回の中心は協働的な学びを通して、集まって学ぶことの意義、自己有用感のある授業をどう仕組むかにポイントを置いていました。

反応が良いからと、授業を知識獲得型のクイズ形式に偏らせているのは、学習の個性化に必要な「技能や経験に基づく確かな理解」にまで深めることはできません。

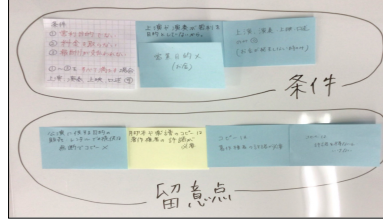
一方、先生が協働的な

学びをしようとして、まともに行き詰まる場面も多くあります。若人の会でも、その声があがっていました。

### ◆流れ◆

- Google Classroom を使って、  
①当日スライド  
②Googleスライド  
③Googleドキュメントを配付。

各グループは課題分担後、紙の付箋に「その課題の著作権に関する留意点」を個で書き出し、その後グループで整理します。



整理したものを写真に撮って②Googleスライドに貼り付けます。別の参加者は、Googleレンズでテキスト化して③Googleドキュメントに貼り付けます。

### ◆発表と学びのスタイル

発表者は②Googleスライドを見ながら説明し、他の参加者は、自分の端末で②Googleスライドを表示しておき、別途配付

されていた「学校と著作権」冊子の発表された該当部分にアンダーラインを引く「アナログ×デジタル併用」スタイルです。

### ■ NotebookLMの活用

この時間を利用して、先生は、各グループが貼り付けた③GoogleドキュメントをNotebookLMにアップロードします。数秒で、著作権の基本的な考え方をまとめた概要が次のように生成されました。

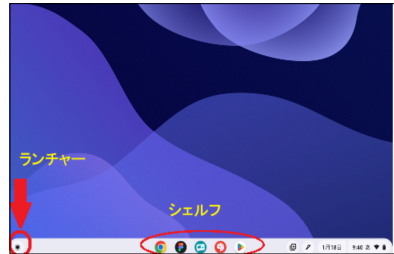


「この資料は、学校現場における著作権の取り扱いに関する勉強会の記録をまとめたものです。児童や生徒の作品であっても、創意工夫があれば著作権が発生するため、外部公開の際は事前の同意が必要である・・・」

これを先生のまとめに取り入れたり、Google Classroomのストリームで配信して、ふりかえりとしても良いでしょう。

参加者同士が学びあい、「集まって学ぶ意義」を体感でき、自己有用感が高まるという授業スタイルの提案です。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター



画面の左下にある ○マーク（ランチャー）を開くと、Gmail アイコンが追加されています。

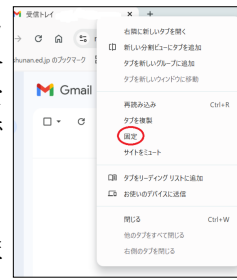
そのアイコンを右クリック（タッチパッドを2本指でタップ）して、「シェルフに固定」を選びます。

※ Chromebookでのマウスの右クリックは、「タッチパッドを2本指でタップ」します。タッチパッドの右下を押しても右クリックし

たことにはなりません。

<方法2> GoogleChromeを開いたときにタブにGmailを固定

- ① Gmailを開く
- ② Gmailの画面左上のタブを右クリック（タッチパッドを2本指でタップ）して、「固定」を選びます。



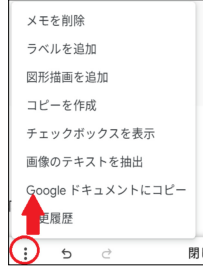
方法1、2は、アイコンを見えやすい位置に置いただけです。常駐には最小化をします。シェルフに小さいアンダーバー付きのアイコンが表示されますが、Google Classroomを固定して、それを見る方が実用的です。

GoogleKeepはノートに代わる？

これまでの学習端末でも今回のChromebookでも利用できるメモツールGoogle Keepです。授業中、ポイントとなるところを「図形描画を追加」をタッ



プして、ノートをとるように手書き入力を入れます。その手書きは、「画像のテキストを抽出」により、画面下に表示されます。



(すでに紹介した「付箋」からテキストを読み取るイメージです。) さらに画面下には「画像の追加」がありますので、例えばスタディポケットで板書を使うように、このGoogleKeepに貼り付けることができます。

そして「Googleドキュメントにコピー」をすると新規ドキュメントに貼り付きます。

「書くことで覚える」とよく言われますが、授業のねらいによっては、ポイントをGoogleKeepに、まさにメモとして音声入力も含めて記録していきます。授業終了時には、Googleドキュメントに保存して「ノート」とする児童生徒が当たり前にいるという状態まで、そんなに時間はかからないでしょう。

周南市教育委員会 教育情報化推進室 ICT教育アドバイザー 周南市教育研究センター

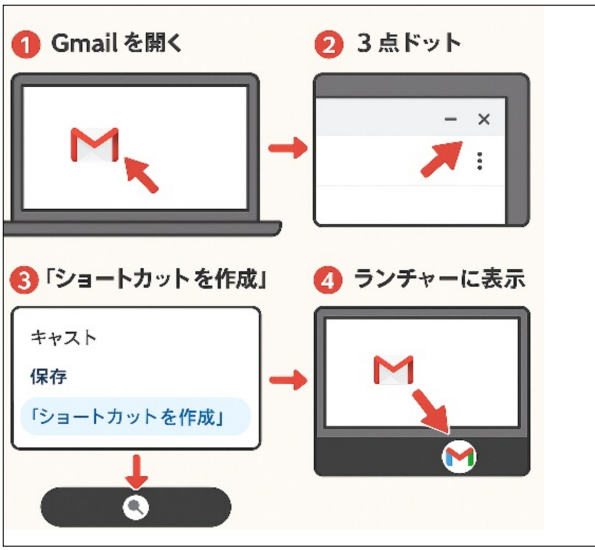
GoogleClassroomの通知

Chromebookで「通知」させるためには、Gmailを常駐（最小化）しておきます。Gmailを閉じていた場合は自分で開きます。

毎回、Google Chromeの「9点ドットメニュー」からGmailを開くのではなく、次の2つの方法のいずれかで行います。

- <方法1>
- Gmailのショートカットを作り、シェルフに置く
- ① 9点ドットメニューからGmailを開く
  - ② 次に画面右上の3点ドット（メニュー）をクリック

- ③ 表示されたメニューの中から「キャスト、保存、共有」を選ぶと、「ショートカットを作成」を含むボックスが開きますので、それをクリック
- ④ その後、Chromebook



知っておきたいICT <亡失損傷届> これまで通常の使用をしてきたものの、キーボードや本体が急に動かなくなった、電源が入らなくなったなどは「自然故障」扱いでした。今後、自然

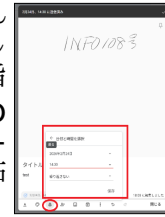
故障や経年劣化が明白なものは亡失損傷届を求めないようにします。しかし、iPadは本体へのサインインをしていないと、データが本体に蓄積され、メモリ不足の結果、リンゴグループや電源

不良が起こります。これは有償の修理が必要となりますので予防してください。iPadは最新のiOSになっていることが求められます。iOSが古いまままで、使い続けられないようにしてください。



例が多くなっています。また、中学校に先行配付されているChromebookでも初期不良や画面割れも発生しています。Chromebookは、アダプターとともに回収となりますので、再度確認をお願いします。

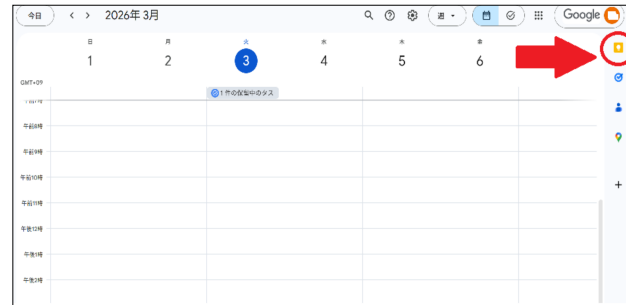
ります。それをクリックして、日時を指定すれば、Googleカレンダーの該当日に貼り付きます。



端末にアカウントを入れておけば、いつでもどこでも入力、確認できます。音声でもテキストに変換されますので、アナログの手帳やノート以上の効果が期待されます。しかし、手帳やノート

### Googleカレンダーとの連携

Googleカレンダーを開くと右上にGoogle Keepのアイコンが出ています。

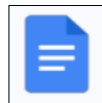


これをクリックすることでGoogleKeepで作成したメモを見ることも編集することもできます。さらに、メモ下段には「ベル」のアイコンがあ

は、手を動かしますので、そのことで記憶を高める効果は否定できません。それぞれに長所・短所がありますので、GoogleKeepを使いながら、どんな目的でどのように使うのかを学ぶチャンスにしてください。

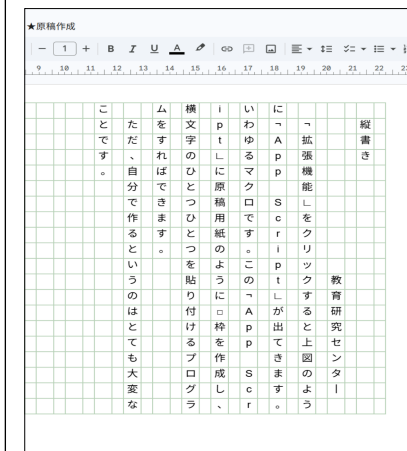
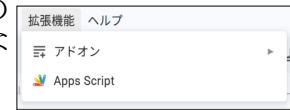
### Googleドキュメントで縦書き

MicrosoftWordのような「縦書き」は得意ではありません。「縦書き」



の場合は、MicrosoftWordを使うとよいでしょう。とは言え、Googleドキュメント上部にある「拡張機能」をクリックすると

右図のような「App Script」が出ます。いわゆるマクロです。この「App Script」で、入力ボックスを表示するようにして入力します。この横文字のひとつひとつの文字を、原稿用紙に見立てた□(しかく)枠に貼り付けていくという方法です。しかし、自分で作るのはあまり現実的ではないでしょう。



学習端末iPadのキーボード不良や画面割れは、代替機の関係上、ヘルプデスクへ連絡をお願いします。

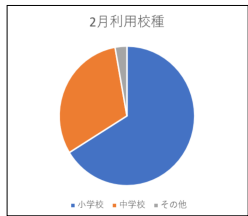
校務PCからEdgeを開くと、画面左上に「周南市教委リンク」フォルダがあります。その中のSharePointポータルには、ICTに関する必要な情報や様式、周南市キャリア・パスポートの他、その一番上に「ヘルプデスク」を表示させています。



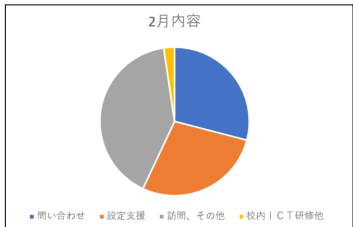
電源に関することや上記内容でも急がれる場合は市教委、もしくは直接アドバイザーに連絡、伝言ください。最近では、本体の故障ではなく、iOSのバージョンによるもの、コードが原因ではないかという事

### 2月の活動状況から

<校種別> 71件  
小学校47、中学校22、その他2



<内容別> 86件  
○電話等による問い合わせ等 25  
○設定支援 24  
○訪問、その他 35  
○校内ICT研修他 2



### 知っておきたいICT

<App ScriptとAI>  
一般の人がマクロやスクリプトを組むことは難しく、現実的とはいえません。しかし、日々、AIが急

速にAGI(人工汎用知能)の実用化に迫る中、例えば、人はWordやドキュメント上で、どのようなことをしたいのか、どうレイアウトかという「アイデア」を羅列するだけで、GeminiやCopil

ot、文章表現ならChatGPTが、それをプロンプトとして捉え、かなりの精度で作成できるようになっています。まさにプログラミングではなく、複数人でアイデアを出す時代です。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター



### 教職員の異動に伴う端末の整理や名簿提出

- 3/26 (木) : 新年度の設置台数(校務パソコン・指導用タブレット)を通知します
  - 3/30 (月) 【厳守】 : 「校務用パソコン利用者名簿」の提出  
これをもとに転入者のアカウント発行等が行われます。
  - 3/31 (火) まで : データの整理 : 転出者は校務パソコン内やOneDrive、Google Classroom (R7年度作成分は原則削除)、共有ドライブ等のデータ整理・退避(校務パソコン本体へデータを残さず、Publicへ待避させます)
    - 回収端末の特定 : 設置台数が減る学校は、回収する端末の特定と付属品の確認
- ・ 該当中学校

は「百問繚乱」の本年度の氏名データをエクスポートして送信提出

- 3/31 (火) 17時~4/1 (水) 午前 : メンテナンスのため、統合型校務支援システムが利用停止

- 3 新年度以降 (4/1~) 新体制でのシステム運用開始と、新入生・転入生の受け入れ準備
  - 4/1 (水) 午後以降 : 統合型校務支援システムへのログインが可能
  - 4/7 (火) まで【厳守】 : 校務支援システム (SchoolEngine) の学級編成を完了 (これをもとに、Google Workspaceやミライシード等の各種学習システムに一括反映)
  - 4月上旬 : デジタル教科書のクーポンコード情報を学校教育課へ提供
  - ミライシードでの担任クラス割り当て
  - 学校ホームページ (ふれあい通信) の年間行事予定等を更新 (「学校要覧」のすべてを掲載しないようにしてください)
  - 新学期以降順次 : 新入生・転入生分のタブレット端末貸与手続きや端末台帳の作成
  - 新入生用学習用アカウントの発行 (4/7の学

級編成確定後)

- 5月以降 : (中学校のみ) スタディポケットが利用可能

中学校では令和8年度からコンピュータ教室端末の廃止やミライシードのログイン方式変更、指導用iPadの管理ソフト変更 (Microsoft Intuneへの移行) を予定

<教職員の異動に伴うデータ管理>  
写真や成績の持ち出しはできません。  
しかし、教員の専門性向上のための教科、分掌等の研修・研究報告に必要な写真 (学校HPの写真を含めて) は、「学習活動の様子分かる程度のものでなければ例外です。学校長の承認をお願いします。  
個人情報保護の観点から「所有は学校に帰属しています」のでご注意ください。  
<指導者用端末のリセット>

Google Classroomの「アーカイブ」化と、その削除を確実に行ってください。転出者の端末の次年度使用は「初期化」したものを 사용합니다。

周南市教育委員会  
教育情報化推進室  
ICT教育アドバイザー  
周南市教育研究センター

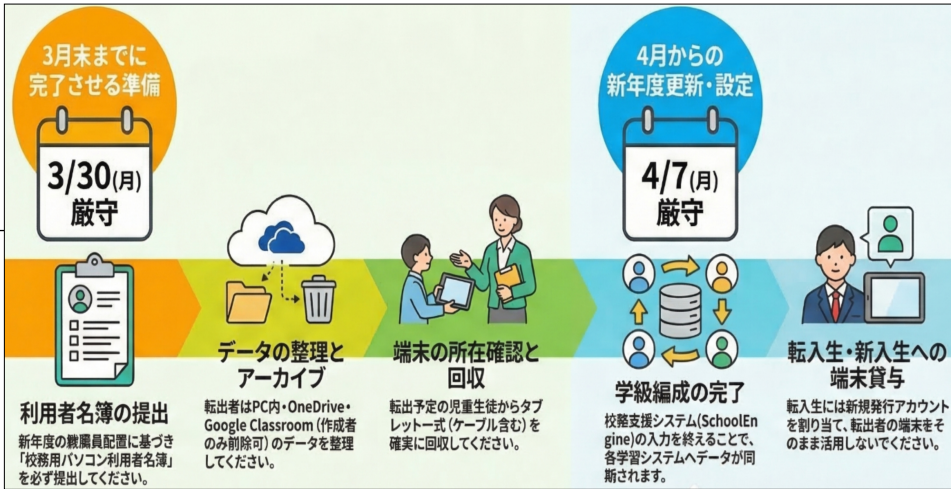
## 年度更新にあたり

このことについて各校にお知らせしています。ご確認ください。

- 1 学期末まで (3/24頃~)
  - 主に児童生徒用端末の管理
  - 転出予定の児童生徒

から、タブレット端末一式 (充電ケーブル等含む) を確実に回収・返却

- ・ 在校生分のタブレット端末についても、一式の所在確認 (亡失事案の未然防止)
- 2 年度末まで (~3/31)



## 知っておきたいICT

<画面のミラーリング>  
TVに映す場合、3つの方法がありますが、Chromebookは少し重みがあります。故障防止のため、いずれもChromebookを机の上に置いて使ってください。

- 1 配置しているSONYテレビは、画面キャストにより自動投影
- 2 昇降機付きPanasonicテレビは、別途「Ez-cast」が配付されています。同一Wi-Fi環境で動作し、TX,RXの送受信の極性があります。

す。RXアダプタをテレビのHDMIに挿し、テレビのUSBを電源とします。  
3 有線接続は、Chrome OS対応のUSB-HDMI変換アダプタが必要です。各校で用意してください。5,000円~20,000円程度します。